

第4章 主要原料・食品の需給と価格変動

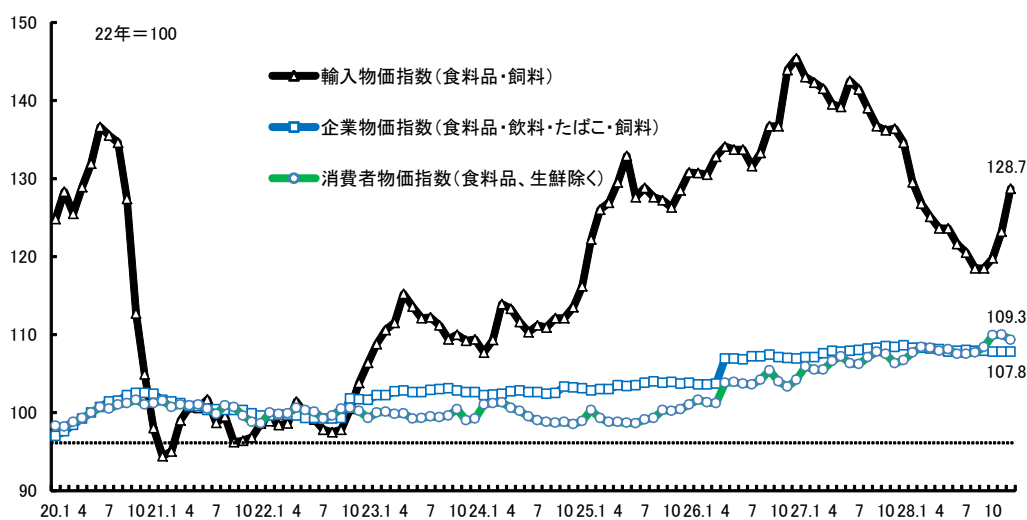
概 要

- 1 畜産食料品
- 2 水産食料品
- 3 農産加工品
- 4 製穀粉・同加工品
- 5 食用油脂・同加工品
- 6 調味料
- 7 大豆・同加工品
- 8 飲料
- 9 冷凍調理食品

概要

平成 28 年の食料品・飼料の輸入物価は、平成 24 年後半から米ドル高円安に転換し、主要穀物の高騰が食料品の輸入物価を押し上げていたが、対前年比で▲ 11.5 %とかなり大きく低下した。平成 28 年の食料品・飲料・たばこ・飼料の企業物価、及び食料品（生鮮を除く）の消費者物価指数は、対前年比で 0.0 %と前年並みだった。平成 26 年 4 月に消費税率をそれまでの 5 %から 8 %に引き上げたことから、企業物価及び消費物価は上昇基調となっていた。平成 26 年以降は高い相関がみられる ($r = 0.801$)。

図4-1 **加工食品**の輸入物価、企業物価、消費者物価の推移



資料：日本銀行「輸入物価指数」「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-1 **加工食品**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 食料品・飼料	企業物価 食料品・飲料・たばこ・飼料	消費者物価 食料品(生鮮除く)
指数 22年=100			
20年	124.1	100.5	100.7
21年	98.1	100.6	101.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	111.1	102.7	99.8
24年	111.8	102.7	99.7
25年	127.9	103.5	99.6
26年	135.3	106.2	102.9
27年	139.3	108.0	105.4
28年	123.3	108.0	105.4
前年増減率 %			
21年	▲ 20.9	0.1	0.8
22年	1.9	▲ 0.6	▲ 1.5
23年	11.1	2.7	▲ 0.2
24年	0.7	0.0	▲ 0.1
25年	14.3	0.8	▲ 0.1
26年	5.8	2.6	3.3
27年	3.0	1.7	2.4
28年	▲ 11.5	0.0	0.0

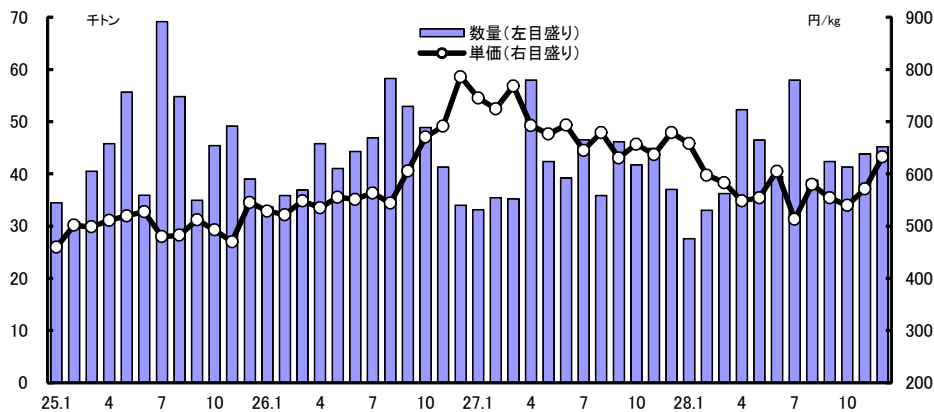
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

1 畜産食料品

牛肉の平成28年の輸入量は、対前年比1.8%（27年は▲4.7%）とわずかに増加、輸入単価（CIF価格、以下、同じ）は24年末から緩やかに上昇基調だったが、同▲16.1%と大幅に低下した。

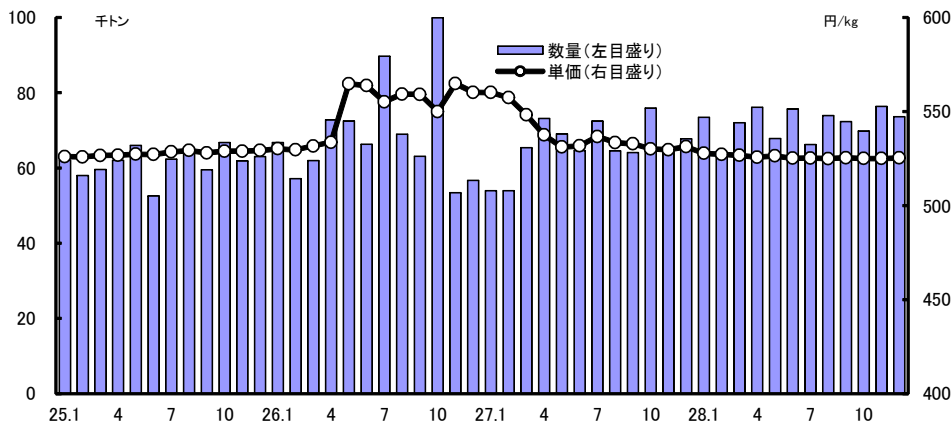
豚肉の平成28年の輸入量は、対前年比8.9%（27年は▲4.7%）とかなりの程度増加、一方、輸入単価は同▲2.2%とわずかに低下。輸入単価は26年をピークに27年後半から横ばい・低下傾向で推移。

図4-2 牛肉の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-3 豚肉の輸入量と輸入単価の推移



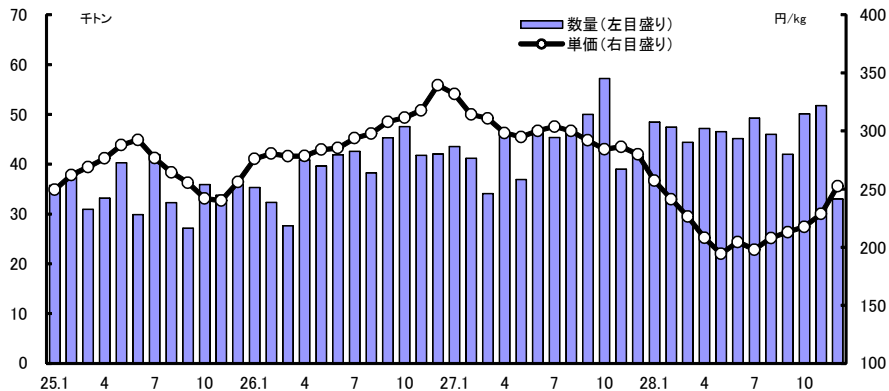
資料:財務省「貿易統計」

鶏肉の平成 28 年の輸入量は、対前年比 4.1 %（27 年は 11.4 %）とやや増加、輸入単価は同 ▲ 26.4 %と大幅に低下。輸入単価は年後半持ち直したが、平成 26 年末から年前半まで低下。

ソーセージの平成 28 年の輸入量は、対前年比 ▲ 19.3 %（27 年は ▲ 7.2 %）と大幅に減少、輸入単価は平成 22 年末からの上昇基調だったが、同 ▲ 9.7 %とかなりの程度低下。

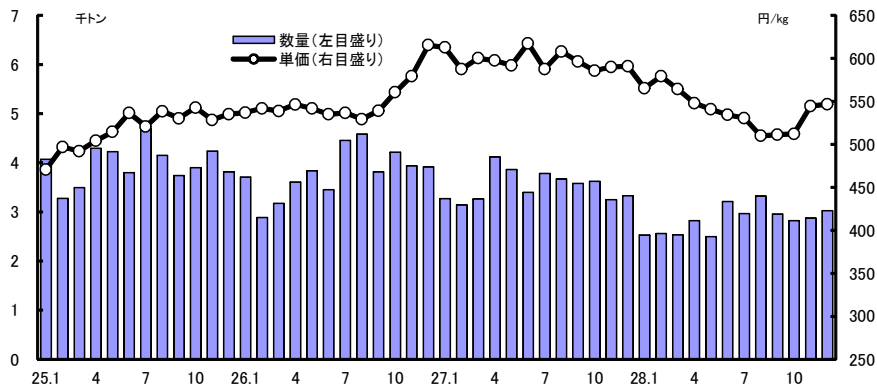
ナチュラルチーズの平成 28 年の輸入量は、対前年比 2.8 %（27 年は 8.3 %）とわずかに増加、一方、輸入単価は同 ▲ 19.5 %と大幅に低下。低下基調は平成 26 年末をピークに年後半まで続いた。

図4-4 鶏肉の輸入量と輸入単価の推移



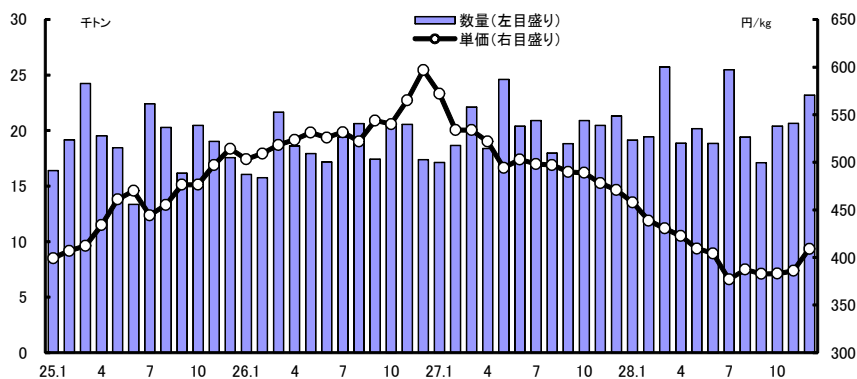
資料:財務省「貿易統計」

図4-5 ソーセージの輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-6 ナチュラルチーズの輸入量と輸入単価の推移

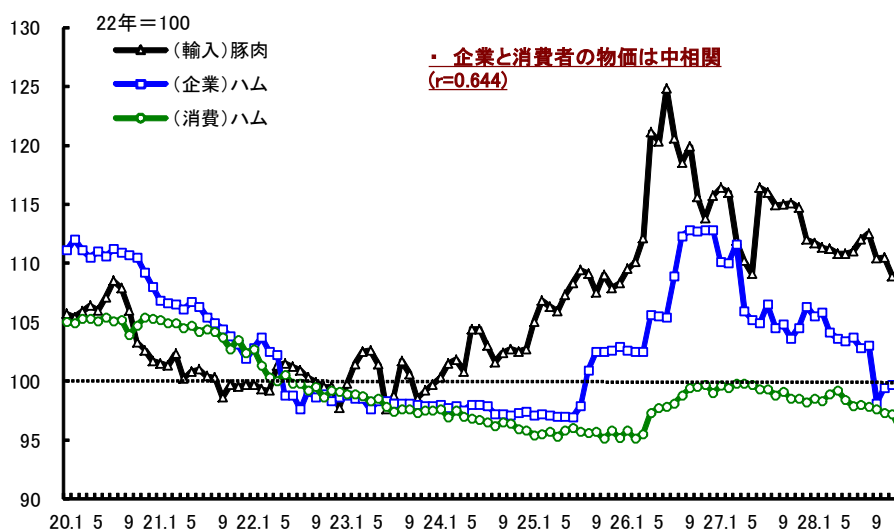


資料:財務省「貿易統計」

ハムは原料である豚肉の平成28年における輸入物価が対前年比▲2.7%とわずかに低下し、企業物価が同▲3.8%（27年は▲1.4%）とやや、消費者物価が同▲1.3%とわずかに低下した。月別推移についてみると、輸入物価は23年末以降に上昇、26年前半をピークに現在は下落基調、企業物価は25年夏以降に上昇し、26年後半をピークに現在は下落基調、消費者物価は26年春まで下落していたが、同年夏以降に上昇、現在は下落基調。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、25年夏まで相関がみられた。

図4-7 ハムの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-2 ハムの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

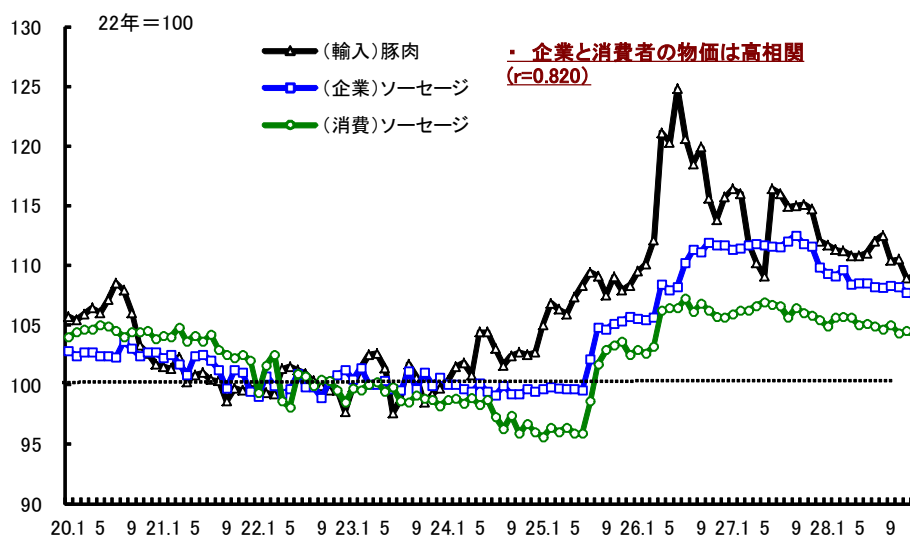
	輸入物価 豚肉	企業物価 ハム	消費者物価 ハム
指数 22年=100			
20年	105.5	110.6	105.0
21年	100.4	105.2	104.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	98.2	98.0
24年	102.3	97.6	96.7
25年	107.6	99.3	95.6
26年	116.8	108.0	97.8
27年	114.0	106.5	99.2
28年	110.9	102.4	97.9
前年増減率 %			
21年	▲4.8	▲4.8	▲0.8
22年	▲0.4	▲5.0	▲4.0
23年	0.3	▲1.8	▲2.0
24年	2.0	▲0.6	▲1.3
25年	5.1	1.7	▲1.1
26年	8.6	8.8	2.3
27年	▲2.4	▲1.4	1.4
28年	▲2.7	▲3.8	▲1.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ソーセージの原料である豚肉の平成 28 年における輸入物価は対前年比▲ 2.7 %とわずかに低下し、ソーセージの企業物価は同▲ 2.8 %、消費者物価は同▲ 1.2 %とわずかに下落。月別推移についてみると、輸入物価は 23 年末以降に上昇し、26 年前半をピークに低下基調、企業物価、消費者物価はそれぞれ上昇後、概ね横ばいから下落傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、連動しており、相関が高い。

図4-8 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-3 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

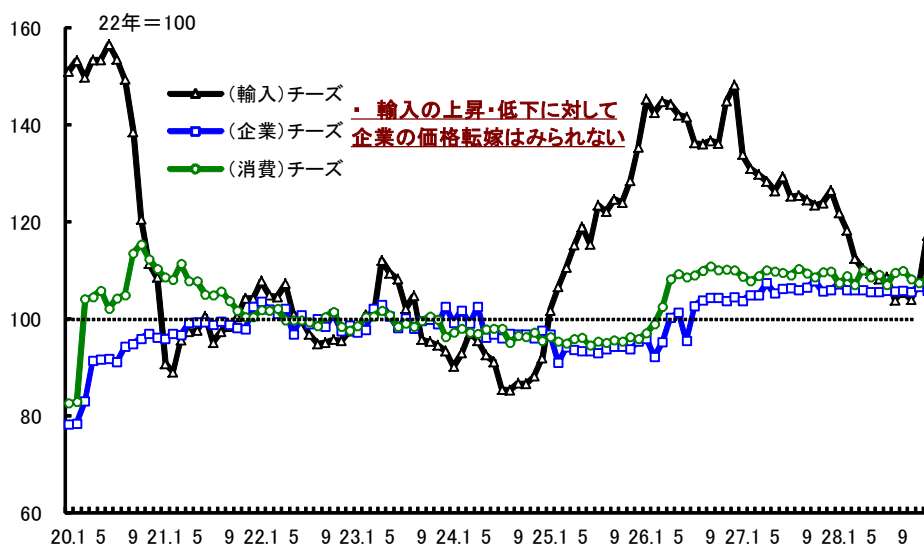
	輸入物価 豚肉	企業物価 ソーセージ	消費者物価 ソーセージ
指数 22年=100			
20年	105.5	102.7	104.4
21年	100.4	101.4	103.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	100.3	99.2
24年	102.3	99.6	97.6
25年	107.6	102.1	99.1
26年	116.8	109.1	105.4
27年	114.0	111.6	106.2
28年	110.9	108.5	104.9
前年増減率 %			
21年	▲ 4.8	▲ 1.3	▲ 1.0
22年	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 3.3
23年	0.3	0.3	▲ 0.8
24年	2.0	▲ 0.7	▲ 1.6
25年	5.1	2.6	1.5
26年	8.6	6.8	6.4
27年	▲ 2.4	2.3	0.8
28年	▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 1.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

チーズの平成28年の輸入物価は対前年比▲13.1%（27年は▲10.1%）とかなり大きく低下し、企業物価は同0.1%と前年並み、消費者物価も同▲0.8%と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は平成24年半ばから25年末まで大きく上昇し、26年末をピークに低下。同時期に企業物価と消費者物価はゆるやかに低下後、26年から遅れて上昇基調、その後横ばい。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、連動しており、相関がみられる。

図4-9 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

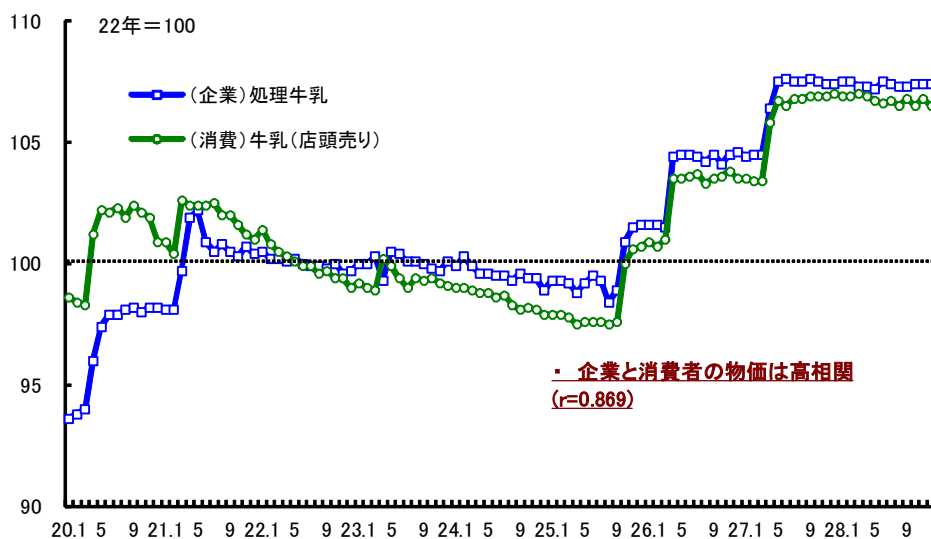
表4-4 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 チーズ	企業物価 チーズ	消費者物価 チーズ
指数 22年=100			
20年	141.5	90.3	103.5
21年	97.5	98.5	105.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	101.2	99.7	99.5
24年	90.2	97.9	97.0
25年	118.8	93.9	95.5
26年	141.5	100.3	107.0
27年	127.2	105.8	109.3
28年	110.5	105.9	108.4
前年増減率 %			
21年	▲ 31.1	9.1	1.8
22年	2.5	1.5	▲ 5.1
23年	1.2	▲ 0.3	▲ 0.5
24年	▲ 10.9	▲ 1.8	▲ 2.5
25年	31.6	▲ 4.2	▲ 1.5
26年	19.1	6.8	12.0
27年	▲ 10.1	5.5	2.1
28年	▲ 13.1	0.1	▲ 0.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

牛乳の平成 28 年の企業物価は対前年比 0.7 %（27 年は 2.8 %）と前年並みとなり、消費者物価も 0.0 %（27 年は 2.9 %）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに 25 年後半から上昇基調となっていたが、27 年以降は横這いで推移している。

図4-10 **牛乳** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-5 **牛乳** の企業物価・消費者物価の推移

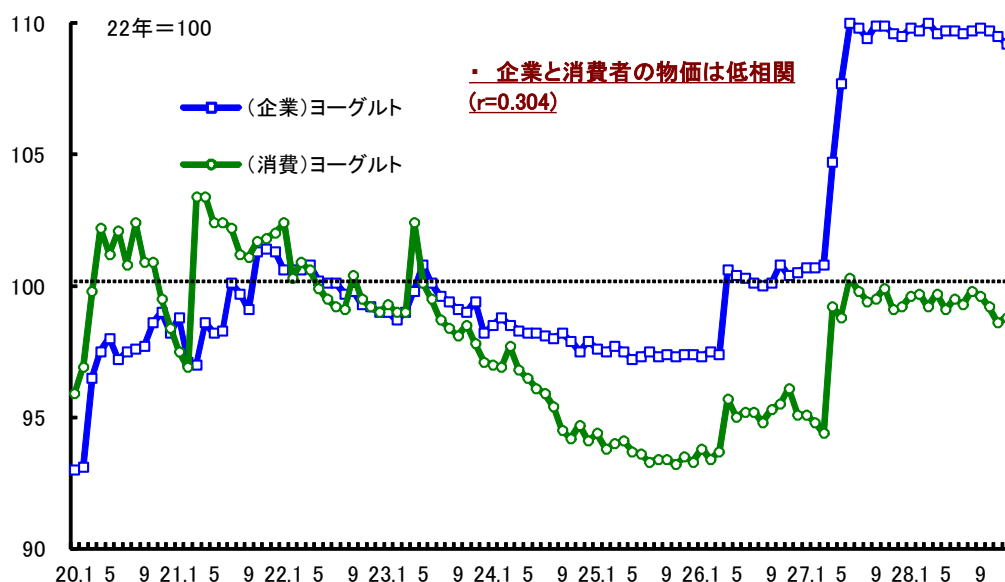
	企業物価 処理牛乳	消費者物価 牛乳
指数 22年=100		
20年	96.8	97.7
21年	100.3	101.0
22年	100.0	100.0
23年	100.0	99.4
24年	99.6	98.6
25年	99.7	98.5
26年	103.7	103.0
27年	106.7	106.0
28年	107.4	106.0
前年増減率 %		
21年	3.7	3.4
22年	▲ 0.3	▲ 1.0
23年	0.0	▲ 0.6
24年	▲ 0.4	▲ 0.8
25年	0.1	▲ 0.1
26年	4.1	4.6
27年	2.8	2.9
28年	0.7	0.0

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ヨーグルトの平成28年の企業物価は対前年比2.6%（27年は7.3%）とわずかに上昇、消費者物価も1.0%（27年は3.6%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価とも26年4月に消費税増税等により上昇し、さらに、27年前半に大手乳業メーカーの値上げの影響等により上昇基調となっていたが、27年後半以降は横這いで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、相関が低い。

図4-11 **ヨーグルト**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-6 **ヨーグルト**の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ヨーグルト	消費者物価 ヨーグルト
指数 22年=100		
20年	97.0	100.1
21年	99.2	101.3
22年	100.0	100.0
23年	99.3	99.0
24年	98.2	95.8
25年	97.4	93.6
26年	99.6	94.9
27年	106.9	98.3
28年	109.7	99.3
前年増減率 %		
21年	2.3	1.2
22年	0.8	▲ 1.3
23年	▲ 0.7	▲ 1.0
24年	▲ 1.2	▲ 3.2
25年	▲ 0.8	▲ 2.3
26年	2.2	1.4
27年	7.3	3.6
28年	2.6	1.0

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

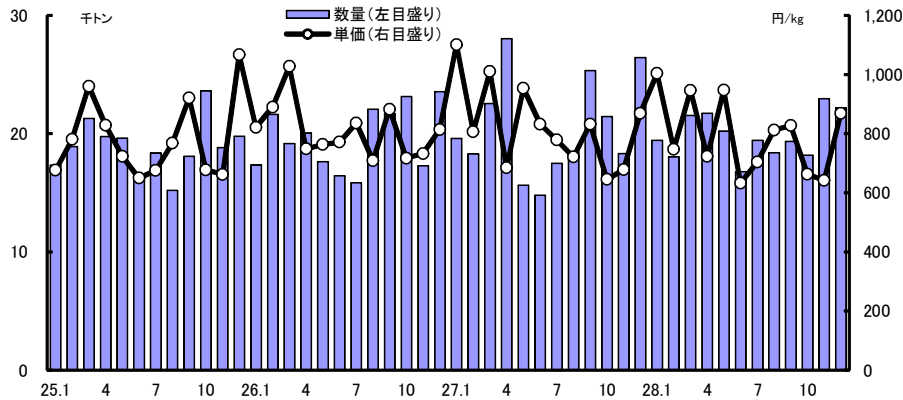
(2) 水産食料品

かつお・まぐろ類（生・蔵・凍）の平成28年の輸入量は、対前年比▲3.3%（27年は4.5%）とやや減少、輸入単価も同▲3.3%（27年は1.7%）とやや低下。

たら（生・蔵・凍・すり身）の平成28年の輸入量は、対前年比▲6.6%（27年は2.2%）とかなりの程度の減少、輸入単価も同▲8.5%（27年は18.5%）とかなりの程度の低下。

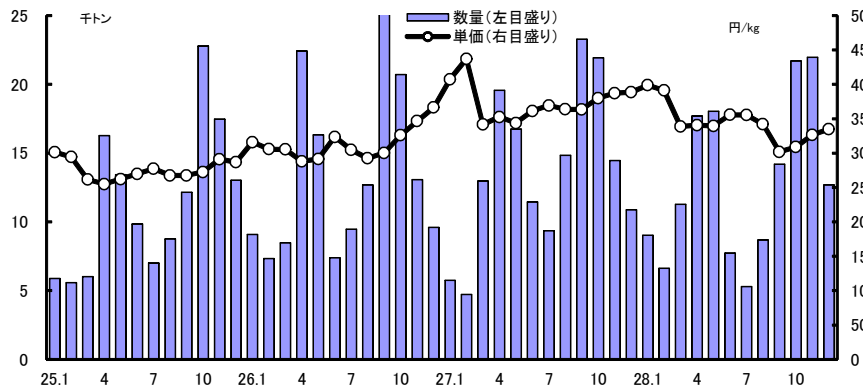
さば・さんま・あじ・いわしの平成28年の輸入量は、対前年比▲6.4%（27年は14.2%）とかなりの程度の減少、輸入単価も同▲2.5%（27年は▲6.5%）とわずかに低下。

図4-12 **かつお・まぐろ類**（生・蔵・凍）の輸入量と輸入単価の推移



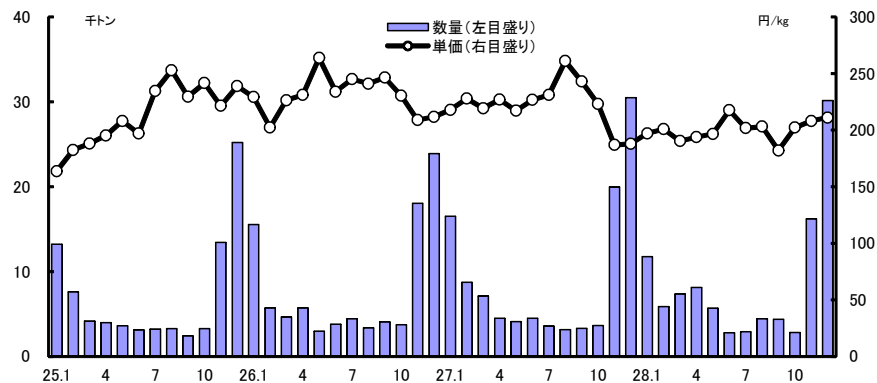
資料:財務省「貿易統計」

図4-13 **たら**（生・蔵・凍・すり身）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

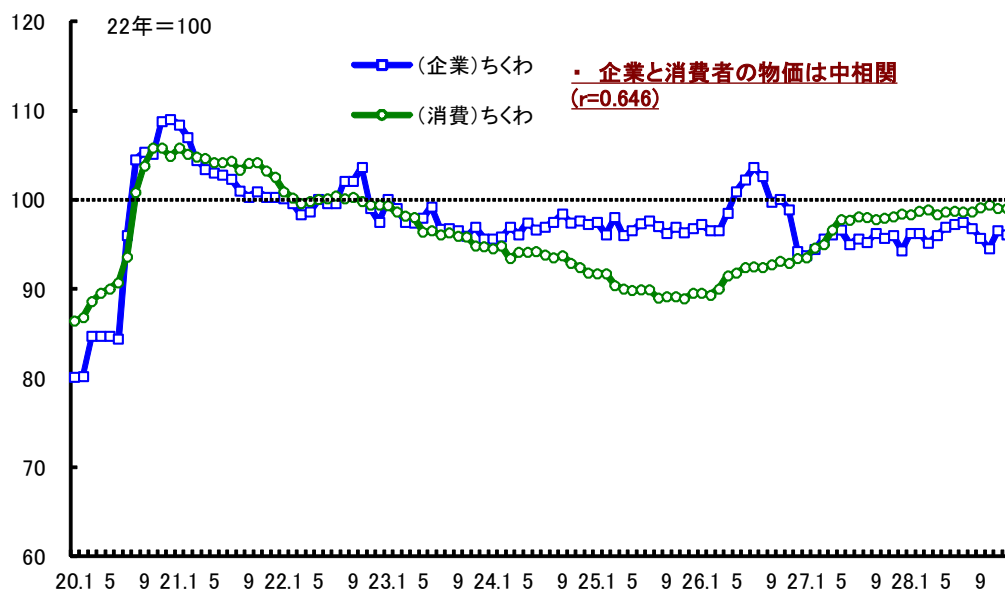
図4-14 **さば・さんま・あじ・いわし**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

ちくわの平成28年の企業物価は対前年比0.9%（27年は▲3.9%）と前年並み、一方、消費者物価は1.9%（27年は5.7%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、平成24年の春以降は企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きかったが、27年末に逆転し、推移している。なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、連動しており、相関がみられる。

図4-15 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

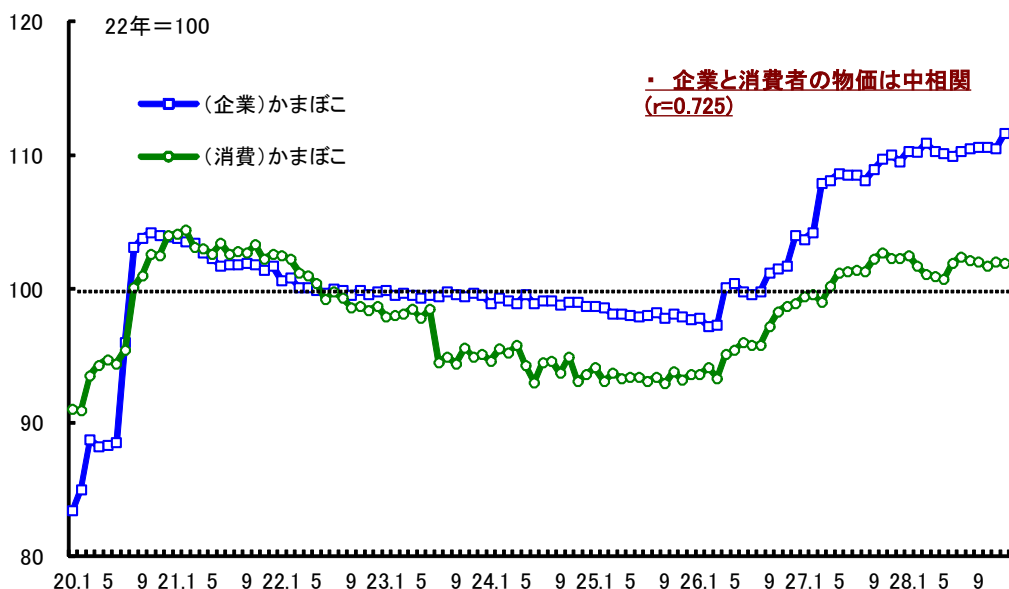
表4-7 **ちくわ**の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ちくわ	消費者物価 ちくわ
指数 22年=100		
20年	94.0	95.6
21年	102.8	104.2
22年	100.0	100.0
23年	97.5	96.7
24年	97.0	93.6
25年	96.9	89.9
26年	99.2	91.8
27年	95.4	97.0
28年	96.2	98.8
前年増減率 %		
21年	9.5	9.0
22年	▲2.8	▲4.0
23年	▲2.6	▲3.3
24年	▲0.5	▲3.2
25年	▲0.1	▲4.0
26年	2.5	2.1
27年	▲3.9	5.7
28年	0.9	1.9

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

かまぼこの平成 28 年の企業物価は対前年比 2.3 %（27 年は 7.9 %）とわずかに上昇、一方、消費者物価は 0.6 %（27 年は 5.3 %）と前年並み。月別推移についてみると、平成 23 年の夏以降、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きく、上昇に転じた後も乖離がみられる。なお、企業物価と消費者物価は平成 19 年以降、概ね連動しており、相関がみられる。

図4-16 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-8 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移

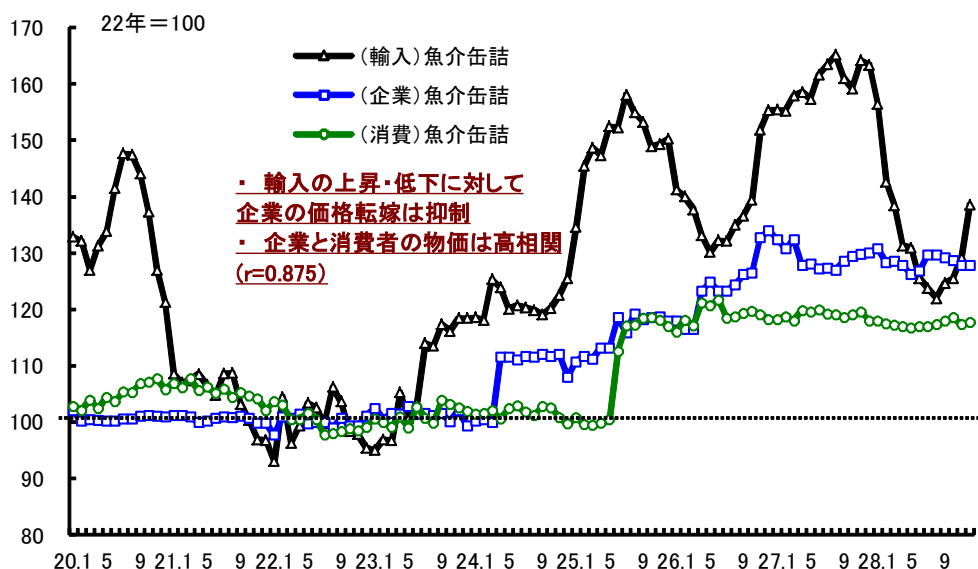
	企業物価 かまぼこ	消費者物価 かまぼこ
指数 22年=100		
20年	94.8	97.0
21年	102.3	103.1
22年	100.0	100.0
23年	99.6	96.5
24年	99.0	94.4
25年	98.1	93.4
26年	100.0	96.0
27年	108.0	101.1
28年	110.5	101.7
前年増減率 %		
21年	8.0	6.3
22年	▲ 2.3	▲ 3.0
23年	▲ 0.4	▲ 3.5
24年	▲ 0.5	▲ 2.2
25年	▲ 1.0	▲ 1.1
26年	2.0	2.8
27年	7.9	5.3
28年	2.3	0.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

魚介缶詰の平成28年の企業物価は対前年比▲0.6%（27年は4.1%）と前年並み、一方、消費者物価は▲1.3%（27年は▲0.1%）とわずかに低下。月別推移についてみると、消費者物価は企業物価の上昇に遅れて25年夏に上昇し、以降概ね横ばいで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、高い相関がみられる。

図4-17 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-9 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 魚介缶詰	企業物価 魚介缶詰	消費者物価 魚介缶詰
指数 22年=100			
20年	135.3	100.8	104.8
21年	104.8	100.6	105.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	108.0	101.3	101.2
24年	121.2	108.5	101.6
25年	149.6	115.6	109.9
26年	138.7	124.1	119.0
27年	160.2	129.2	118.9
28年	132.4	128.4	117.4
前年増減率 %			
21年	▲ 22.5	▲ 0.1	0.5
22年	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 5.0
23年	8.0	1.3	1.2
24年	12.2	7.1	0.4
25年	23.5	6.6	8.2
26年	▲ 7.3	7.4	8.3
27年	15.5	4.1	▲ 0.1
28年	▲ 17.4	▲ 0.6	▲ 1.3

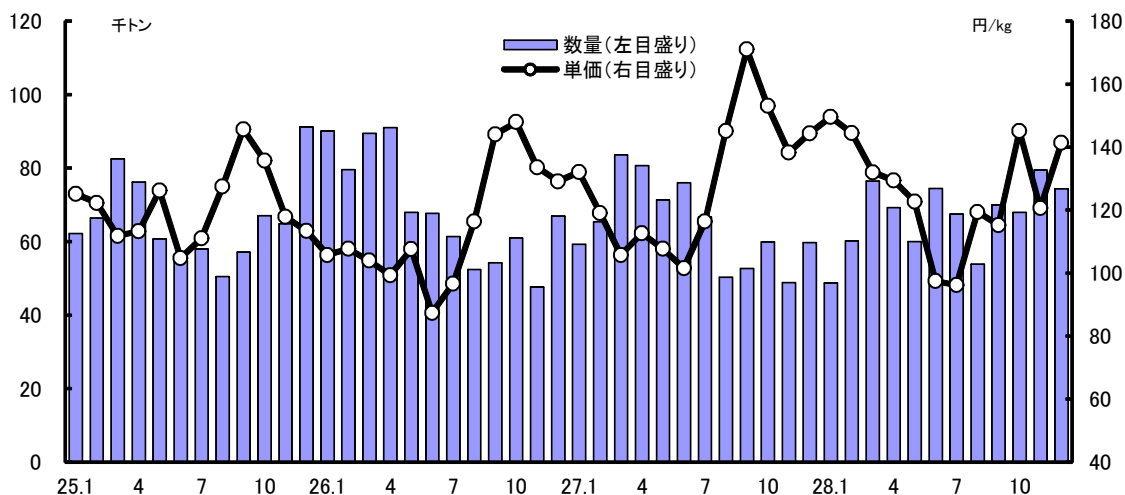
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(3) 農産加工品

野菜（生鮮・冷蔵）の平成 28 年の輸入量は、対前年比で 3.6 %（27 年は▲ 6.6 %）とやや増加、輸入単価は同▲ 0.4 %（27 年は 11.7 %）と前年並み。

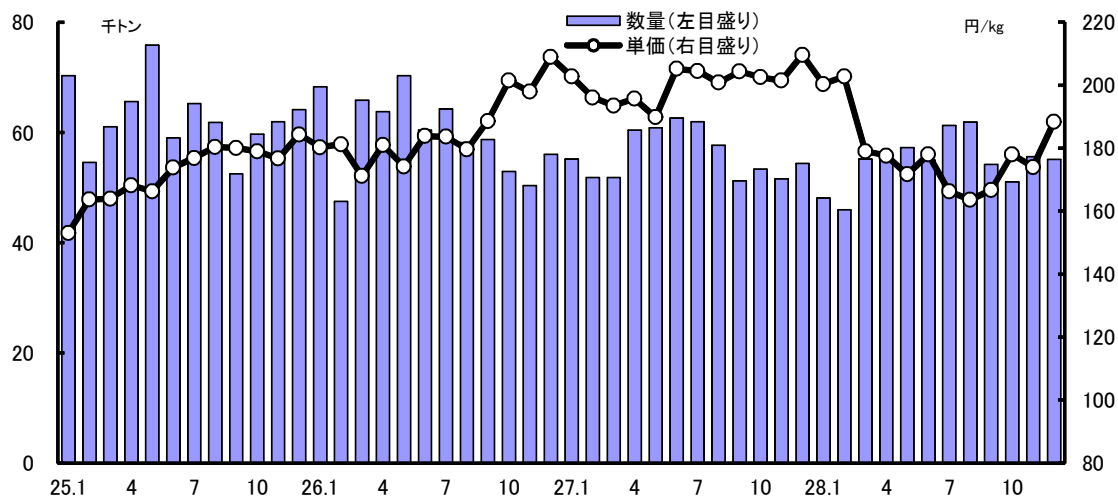
野菜缶・びん詰類等の平成 28 年の輸入量は、対前年比で▲ 2.5 %（27 年は▲ 6.1 %）とわずかに減少、輸入単価は同▲ 11.2 %（27 年は 8.2 %）とかなり大きく低下。

図4-18 野菜（生鮮・冷蔵）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-19 野菜缶・びん詰類等の輸入量と輸入単価の推移

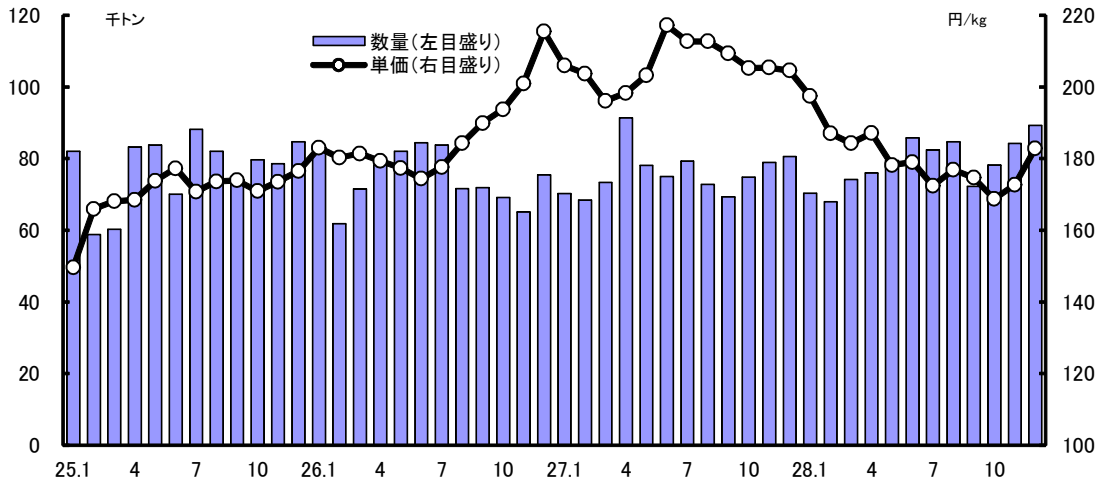


資料:財務省「貿易統計」

冷凍野菜の平成28年の輸入量は、対前年比で3.6%（27年は1.6%）とやや増加、一方、輸入単価は同▲12.8%（27年は10.8%）とかなり大きく低下。

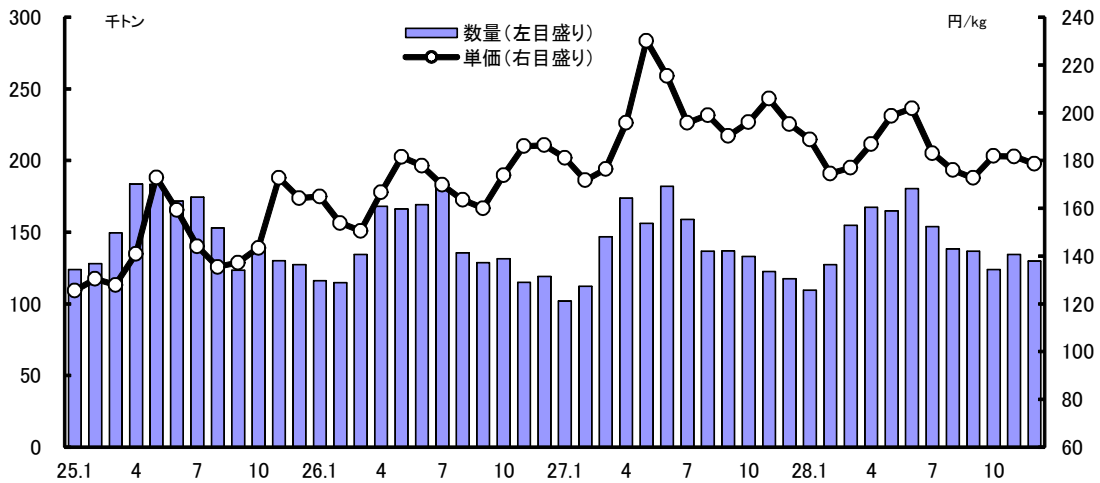
果実（生鮮・乾燥）の平成28年の輸入量は、対前年比で2.5%（27年は▲0.1%）とわずかに増加、輸入単価は同▲6.7%（26年は16.3%）とかなりの程度低下。

図4-20 冷凍野菜の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

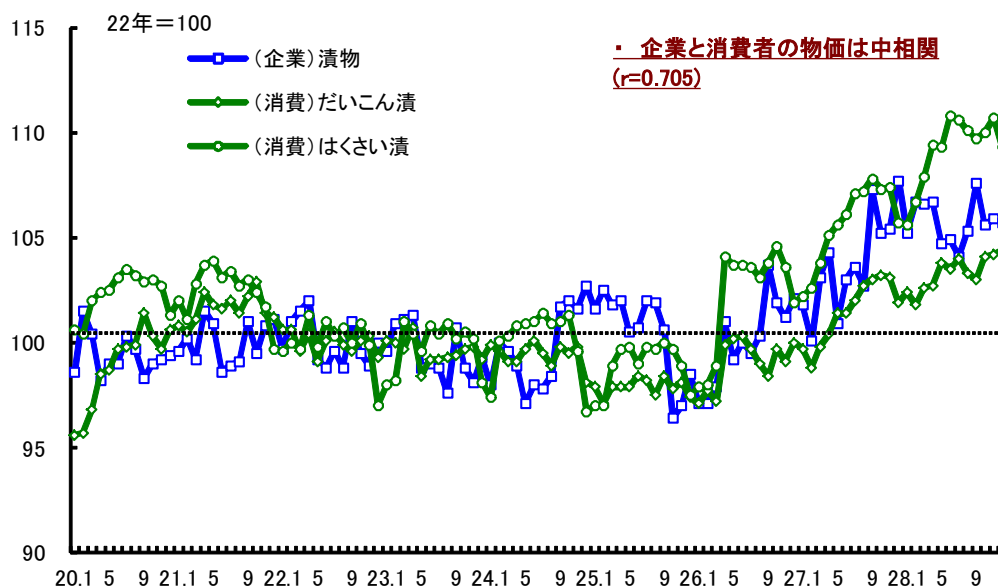
図4-21 果実（生鮮・乾燥）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

漬物の平成 28 年の企業物価は対前年比 1.9 %（27 年は 3.7 %）とわずかに上昇、一方、だいこん漬の消費者物価は同 1.8 %（27 年は 2.5 %）とわずかに上昇、はくさい漬は同 3.3 %（27 年は 3.4 %）とやや上昇。

図4-22 漬物の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

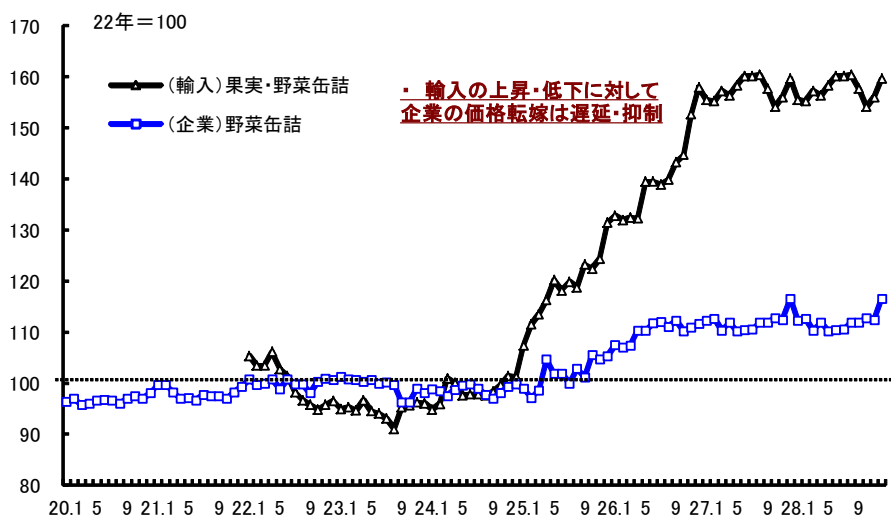
表4-10 漬物の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 漬物	消費者物価 だいこん漬	消費者物価 はくさい漬
指数 22年=100			
20年	99.4	98.9	102.3
21年	100.0	101.6	102.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	99.5	99.6	99.9
24年	99.7	99.4	100.1
25年	100.4	97.9	98.9
26年	100.1	99.0	102.2
27年	103.8	101.5	105.7
28年	105.8	103.3	109.2
前年増減率 %			
21年	0.7	2.7	0.2
22年	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 2.4
23年	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1
24年	0.2	▲ 0.2	0.2
25年	0.8	▲ 1.5	▲ 1.2
26年	▲ 0.4	1.1	3.3
27年	3.7	2.5	3.4
28年	1.9	1.8	3.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

野菜缶詰の平成28年の輸入物価（果実・野菜缶詰）は対前年比▲10.4%（27年は13.6%）とかなりの程度低下、一方、企業物価は同1.6%（27年は1.6%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、28年度は輸入物価は低下しているのに対し、企業物価は緩やかに上昇している。

図4-23 野菜缶詰の輸入物価・企業物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-11 野菜缶詰の輸入物価・企業物価の推移

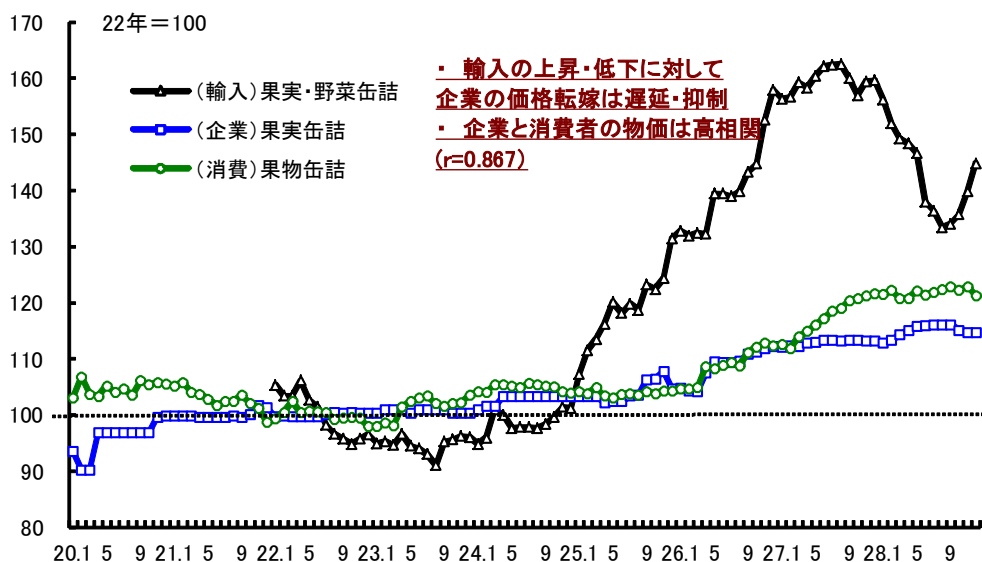
	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 野菜缶詰
指数 22年=100		
20年		96.7
21年		97.9
22年	100.0	100.0
23年	94.7	99.4
24年	98.6	98.6
25年	118.9	101.8
26年	140.4	110.2
27年	159.5	111.9
28年	142.9	113.8
前年増減率 %		
21年		1.3
22年		2.1
23年	▲ 5.2	▲ 0.6
24年	4.0	▲ 0.8
25年	20.6	3.3
26年	18.1	8.2
27年	13.6	1.6
28年	▲ 10.4	1.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

果実缶詰の平成 28 年の企業物価は対前年比 1.8 %（27 年は 3.9 %）とわずかに上昇し、消費者物価も同 3.9 %（27 年は 7.7 %）とやや上昇。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、高い相関がみられる。

図4-24 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-12 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 果実缶詰	消費者物価 果物缶詰
指数 22年=100			
20年		95.9	104.8
21年		100.0	102.8
22年	100.0	100.0	100.0
23年	94.7	100.7	101.4
24年	98.6	102.8	104.8
25年	118.9	104.1	103.9
26年	140.4	108.7	108.9
27年	159.5	112.9	117.3
28年	142.9	115.0	121.9
前年増減率 %			
21年		4.3	▲ 1.9
22年		▲ 0.0	▲ 2.7
23年	▲ 5.2	0.7	1.4
24年	4.0	2.1	3.4
25年	20.6	1.2	▲ 0.9
26年	18.1	4.5	4.8
27年	13.6	3.9	7.7
28年	▲ 10.4	1.8	3.9

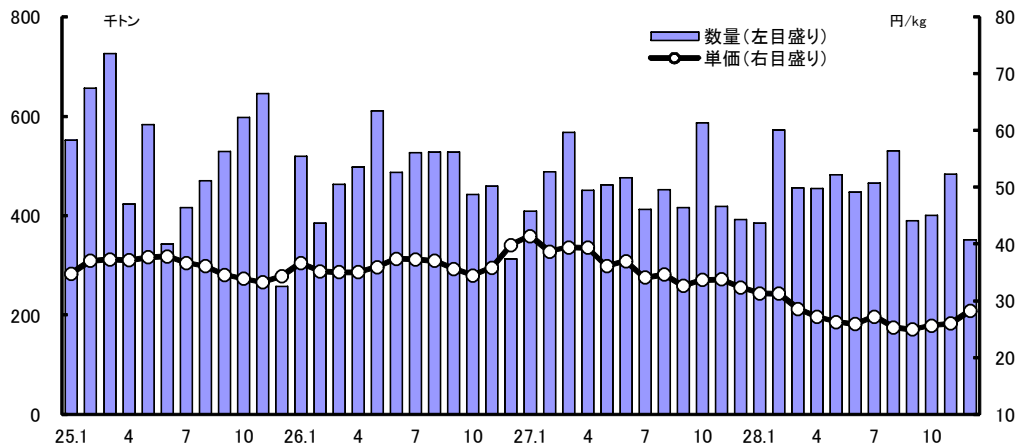
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(4) 製穀粉・同加工品

小麦の平成28年の輸入量は、対前年比▲2.1%（27年は▲4.0%）とわずかに減少、輸入単価は同▲24.4%（27年は▲0.1%）と大幅に低下。

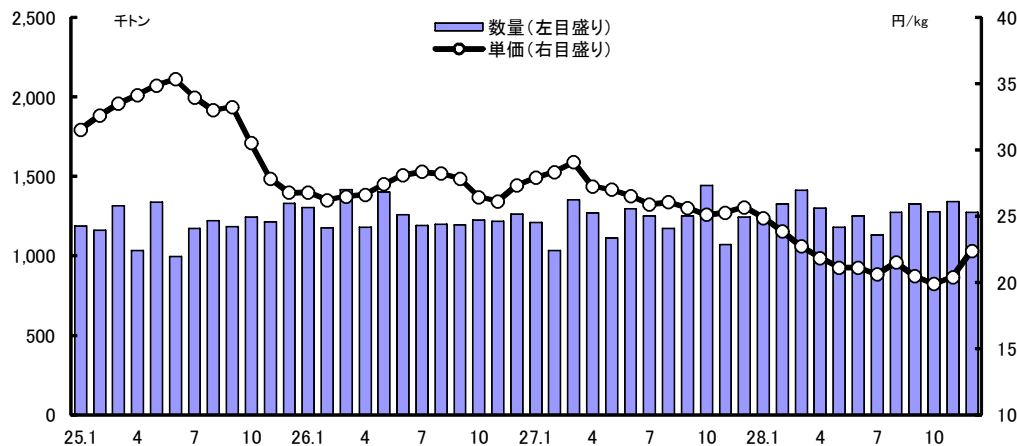
とうもろこしの平成28年の輸入量は、対前年比4.3%（27年は▲2.2%）とやや増加、輸入単価は同▲18.4%（27年は▲1.9%）と大幅に低下。

図4-25 小麦の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-26 とうもろこしの輸入量と輸入単価の推移

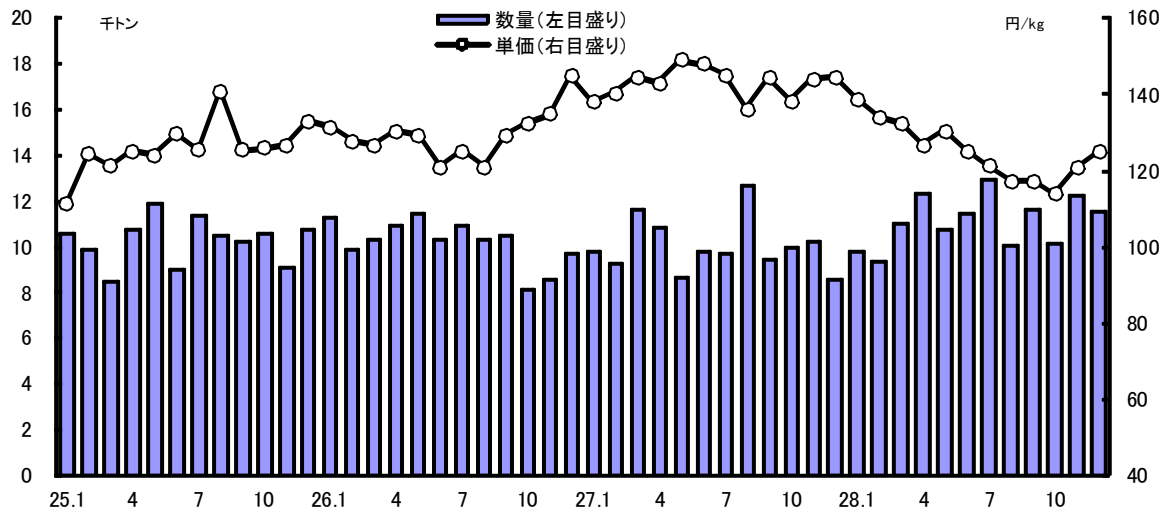


資料:財務省「貿易統計」

スパゲティの平成 28 年の輸入量は、対前年比 10.4 %（27 年は▲ 1.4 %）とかなりの程度増加、輸入単価は同▲ 12.4 %（27 年は 10.4 %）とかなり大きく低下。

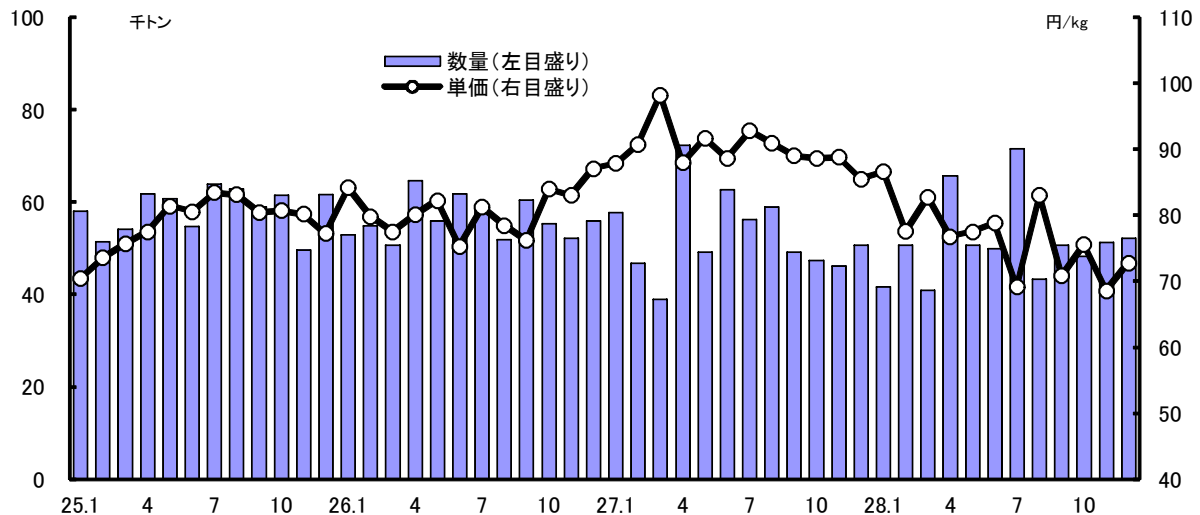
でん粉等・イヌリンの平成 28 年の輸入量は、対前年比▲ 3.0 %（27 年は▲ 5.8 %）とやや減少、輸入単価は同▲ 15.3 %（27 年は 11.4 %）とかなり大きく低下。

図4-27 **スパゲティ** の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

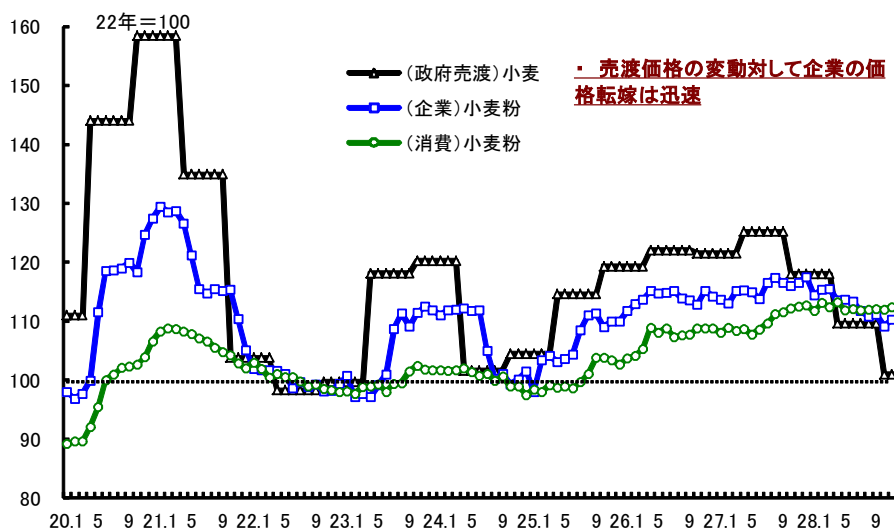
図4-28 **でん粉等・イヌリン** の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

小麦の平成 28 年の政府売渡価格は、対前年比▲ 10.5 %（27 年は 1.0 %）とかなりの程度低下し、小麦粉の企業物価は同▲ 2.7 %（27 年は 1.4 %）とわずかに低下。一方、小麦粉の消費者物価は同 2.0 %（27 年は 2.5 %）とわずかに上昇。月別推移についてみると、輸入物価の低下に伴い、企業物価も低下。

図4-29 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-13 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移

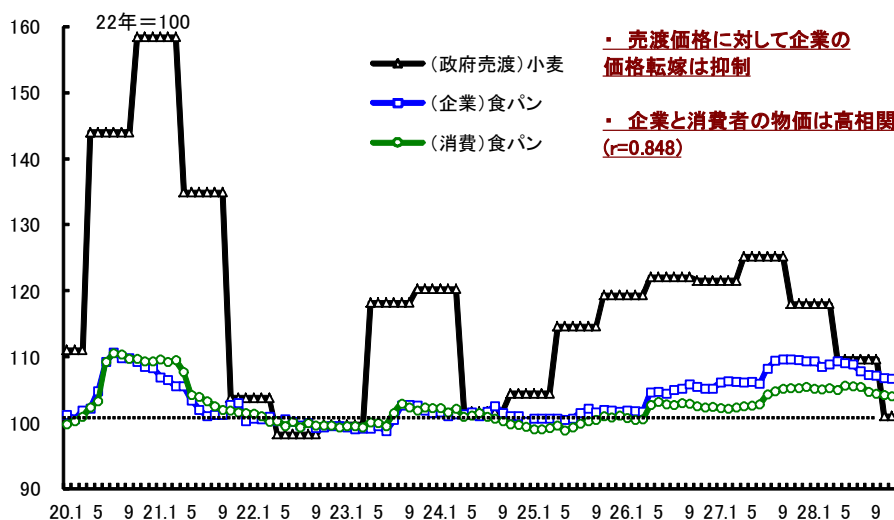
	政府売渡価格 小麦	企業物価 小麦粉	消費者物価 小麦粉
指数 22年=100			
20年	139.3	112.5	97.9
21年	133.0	118.8	106.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	104.8	99.8
24年	107.0	106.5	100.5
25年	113.2	106.3	100.5
26年	121.2	114.0	107.3
27年	122.5	115.5	110.0
28年	109.5	112.4	112.2
前年増減率 %			
21年	▲ 4.6	5.6	8.6
22年	▲ 24.8	▲ 15.8	▲ 5.9
23年	14.1	4.8	▲ 0.2
24年	▲ 6.2	1.6	0.7
25年	5.8	▲ 0.1	0.0
26年	7.1	7.2	6.8
27年	1.0	1.4	2.5
28年	▲ 10.5	▲ 2.7	2.0

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

食パンの原料である小麦粉に関して、小麦の平成 28 年の政府売渡価格は、対前年比▲ 10.5 %（27 年は 1.0 %）とかなりの程度低下し、食パンの企業物価は同 0.3 %（27 年は 3.3 %）と前年並み。消費者物価も同 1.2 %（27 年は 1.5 %）とわずかに上昇。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、連動しており、相関が高い。

図4-30 食パンの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-14 食パンの企業物価・消費者物価の推移

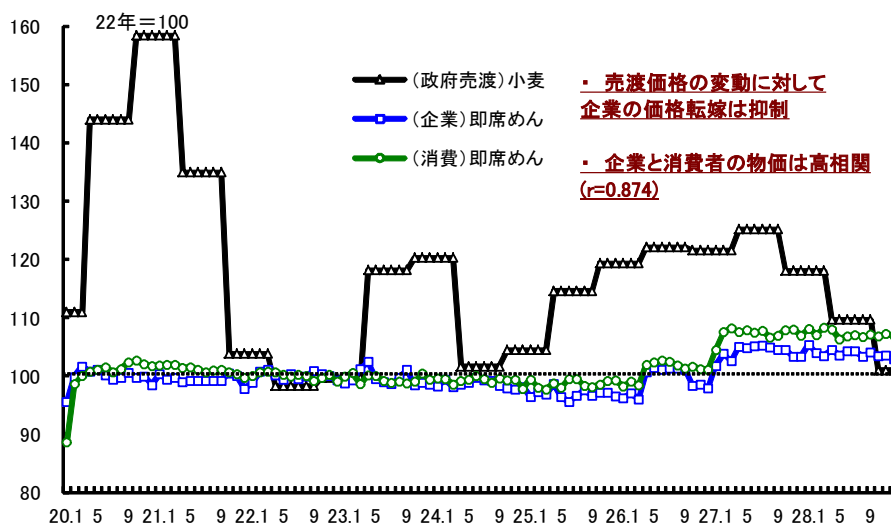
	政府売渡価格 小麦	企業物価 食パン	消費者物価 食パン
指数 22年=100			
20年	139.3	106.3	106.2
21年	133.0	103.3	104.7
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	100.5	100.9
24年	107.0	101.3	100.8
25年	113.2	101.2	99.9
26年	121.2	104.2	102.2
27年	122.5	107.7	103.7
28年	109.5	108.0	104.9
前年増減率 %			
21年	▲ 4.6	▲ 2.9	▲ 1.4
22年	▲ 24.8	▲ 3.2	▲ 4.5
23年	14.1	0.5	0.9
24年	▲ 6.2	0.8	▲ 0.1
25年	5.8	▲ 0.1	▲ 0.9
26年	7.1	3.0	2.3
27年	1.0	3.3	1.5
28年	▲ 10.5	0.3	1.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

即席めんの原料である小麦粉に関して、小麦の平成28年の政府売渡価格は、対前年比▲10.5%（27年は1.0%）とかなりの程度低下し、即席めんの企業物価は同0.0%（27年は4.9%）と同水準、消費者物価は同▲0.2%（27年は4.8%）と前年並み。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、連動しており、相関が高い。

図4-31 即席めん の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

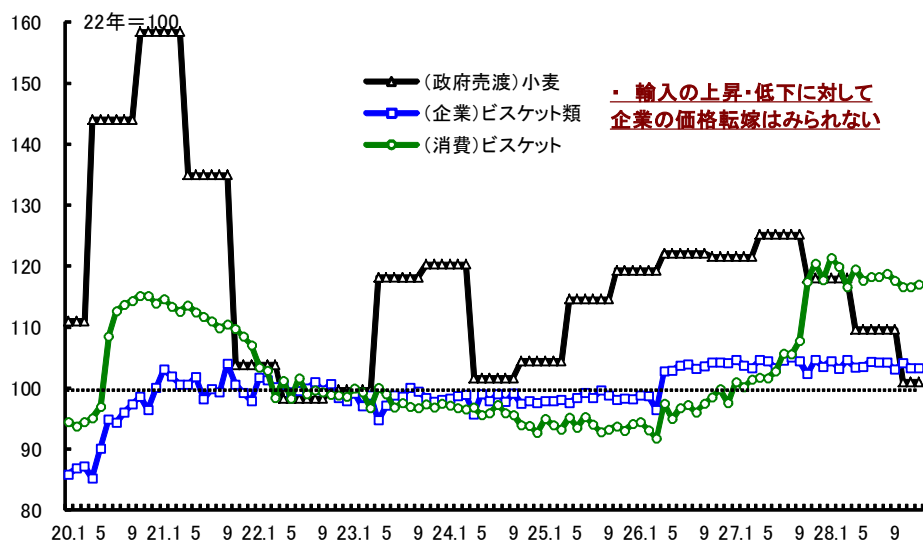
表4-15 即席めん の企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 即席めん	消費者物価 即席めん
指数 22年=100			
20年	139.3	99.7	100.1
21年	133.0	99.3	101.0
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	99.6	99.6
24年	107.0	98.6	98.6
25年	113.2	96.9	96.9
26年	121.2	99.2	99.2
27年	122.5	104.0	104.0
28年	109.5	104.0	103.8
前年増減率 %			
21年	▲ 4.6	▲ 0.4	0.9
22年	▲ 24.8	0.7	▲ 1.0
23年	14.1	▲ 0.4	▲ 0.4
24年	▲ 6.2	▲ 1.0	▲ 1.0
25年	5.8	▲ 1.7	▲ 1.7
26年	7.1	2.4	2.4
27年	1.0	4.9	4.8
28年	▲ 10.5	0.0	▲ 0.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ビスケットの原料である小麦粉に関して、小麦の平成 28 年の政府売渡価格は、対前年比▲ 10.5 %（27 年は 1.0 %）とかなりの程度低下し、ビスケットの企業物価は同▲ 0.2 %（27 年は 1.8 %）と前年並み、消費者物価は同 10.6 %（27 年は 11.1 %）とかなりの程度上昇。
 なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、相関がみられない。

図4-32 **ビスケット** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

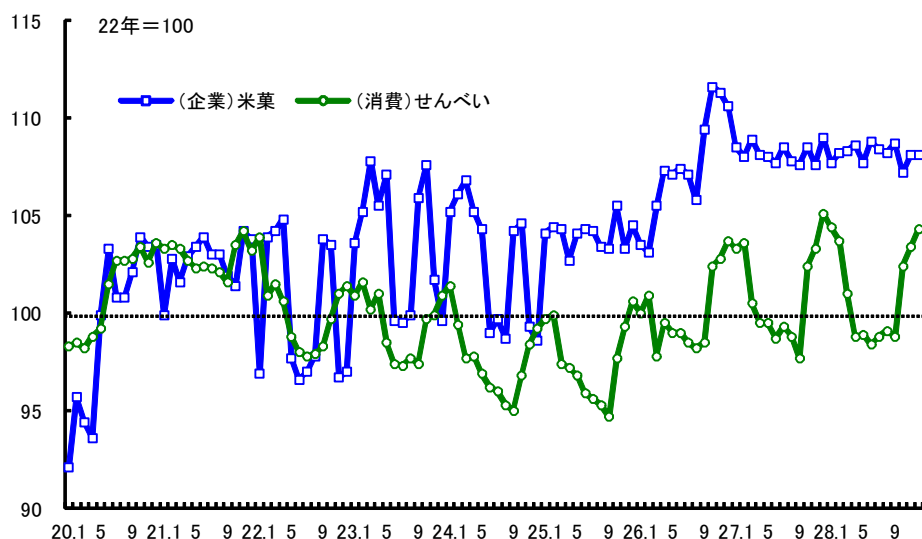
表4-16 **ビスケット** の企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 ビスケット類	消費者物価 ビスケット
指数 22年=100			
20年	139.3	92.7	105.7
21年	133.0	100.6	111.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	114.1	98.1	97.9
24年	107.0	98.1	95.6
25年	113.2	98.4	93.9
26年	121.2	102.2	96.2
27年	122.5	104.0	106.9
28年	109.5	103.8	118.2
前年増減率 %			
21年	▲ 4.6	8.5	5.2
22年	▲ 24.8	▲ 0.6	▲ 10.1
23年	14.1	▲ 1.9	▲ 2.1
24年	▲ 6.2	▲ 0.1	▲ 2.3
25年	5.8	0.3	▲ 1.8
26年	7.1	3.9	2.4
27年	1.0	1.8	11.1
28年	▲ 10.5	▲ 0.2	10.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

米菓の平成 28 年の企業物価は対前年比で▲ 0.0 % (27 年は 0.7 %)、せんべいの消費者物価は同 0.0 % (27 年は 1.0 %) と同水準、一方、月別推移についてみると、企業物価は上昇傾向。一方、消費者物価は緩やかに上昇傾向。

図4-33 米菓の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-17 米菓の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 米菓	消費者物価 せんべい
指数 22年=100		
20年	99.5	101.0
21年	102.7	102.9
22年	100.0	100.0
23年	103.6	99.4
24年	102.6	97.5
25年	104.0	97.5
26年	107.5	100.0
27年	108.2	101.0
28年	108.2	101.0
前年増減率 %		
21年	3.2	1.9
22年	▲ 2.6	▲ 2.8
23年	3.6	▲ 0.6
24年	▲ 0.9	▲ 1.9
25年	1.3	0.0
26年	3.3	2.6
27年	0.7	1.0
28年	▲ 0.0	0.0

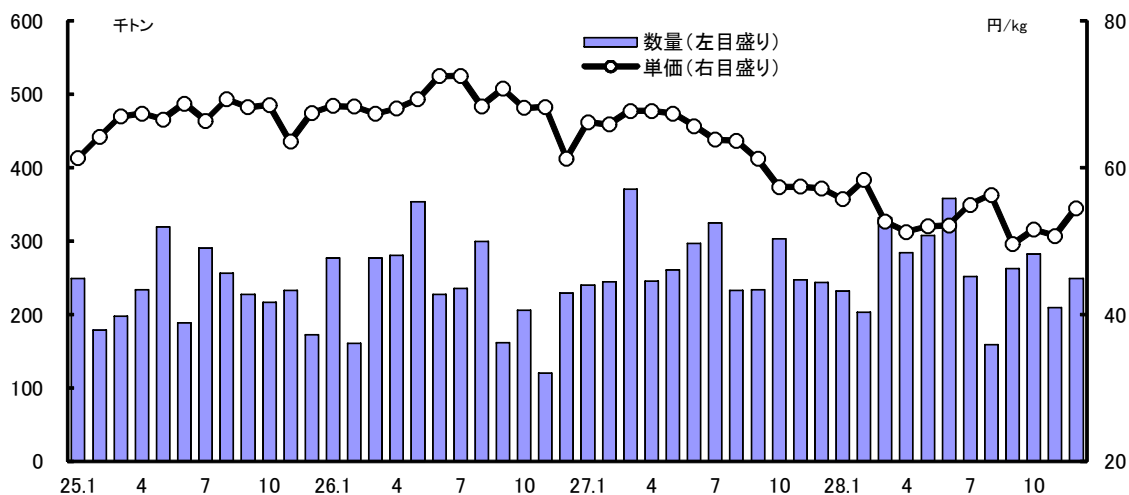
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(5) 食用油脂・同加工品

大豆の平成 28 年の輸入量は、対前年比▲ 3.4 % (27 年は 14.7 %) とやや減少。輸入単価は同▲ 16.6 % (27 年は▲ 7.3 %) と大幅に低下。

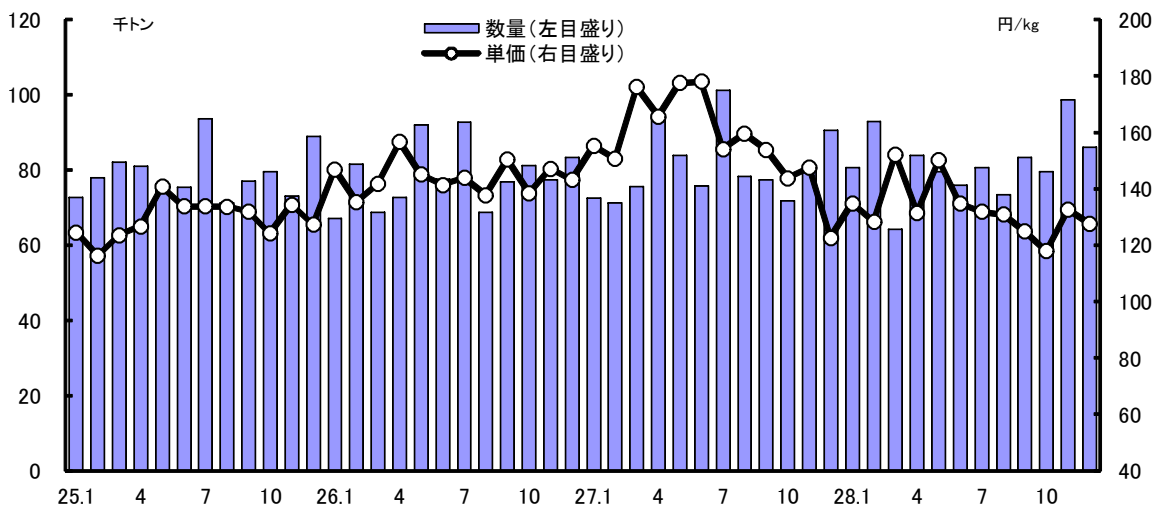
油脂の平成 28 年の輸入量は、対前年比 0.6 % (27 年は 3.5 %) と前年並み。輸入単価は同▲ 15.4 % (27 年は 9.0 %) とかなり大きく低下。

図4-34 **大豆**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

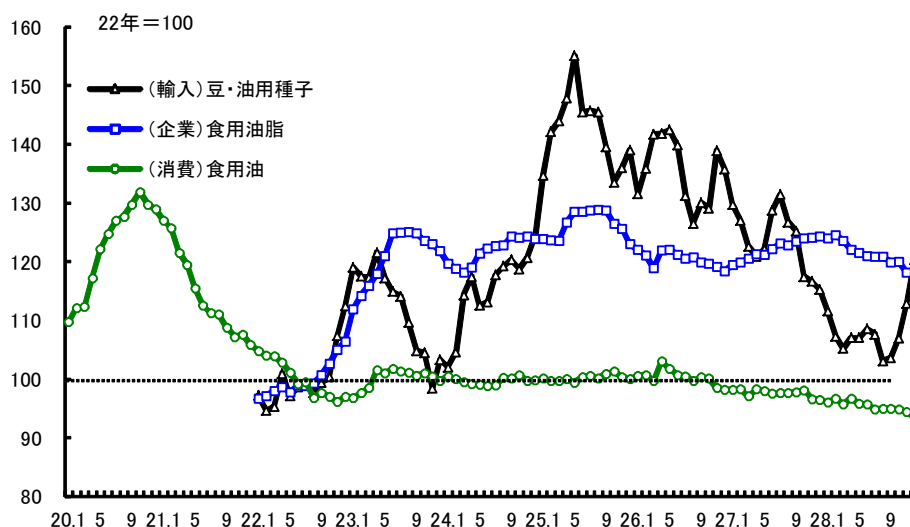
図4-35 **油脂**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

食用油脂の原料である豆・油用種子の平成28年における輸入物価は対前年比▲12.3%とかなり大きく低下（27年は▲8.7%）したものの、食用油脂の企業物価は同▲0.8%（27年は1.4%）と前年並み。食用油の消費者物価も同▲2.3%（27年は▲2.7%）とわずかに低下。

図4-36 食用油脂の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-18 食用油脂の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

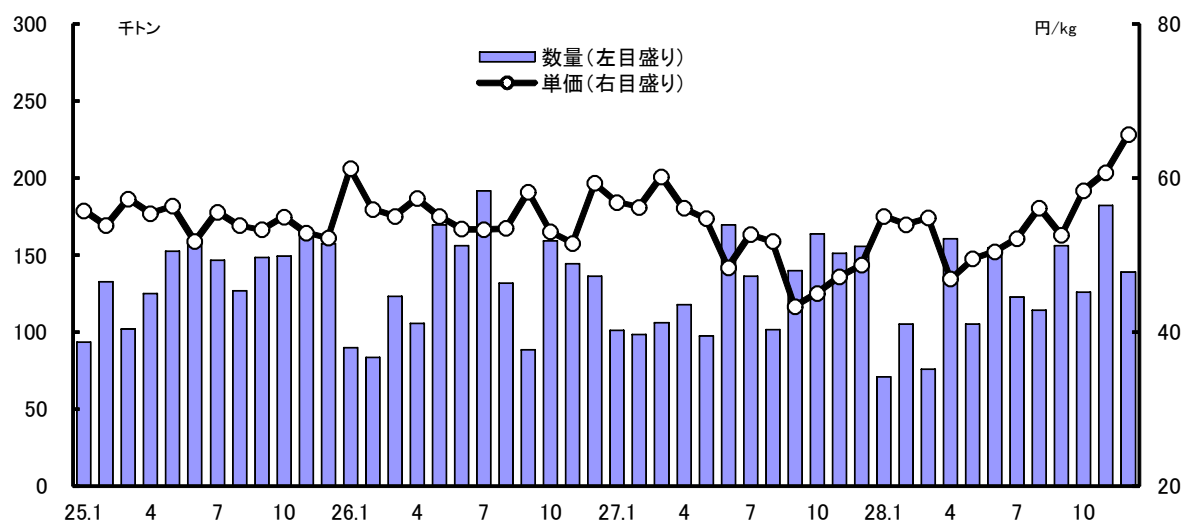
	輸入物価 豆・油用種子	企業物価 食用油脂	消費者物価 食用油
指数 22年=100			
20年			122.8
21年			114.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	111.8	120.8	100.1
24年	115.4	121.8	99.7
25年	142.4	126.3	100.2
26年	135.4	120.5	100.3
27年	123.6	122.2	97.6
28年	108.4	121.2	95.4
前年増減率 %			
21年			▲ 6.8
22年			▲ 12.7
23年	11.8	20.8	0.1
24年	3.2	0.9	▲ 0.4
25年	23.4	3.7	0.5
26年	▲ 4.9	▲ 4.7	0.1
27年	▲ 8.7	1.4	▲ 2.7
28年	▲ 12.3	▲ 0.8	▲ 2.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(6) 調味料

砂糖類の平成28年の輸入量は、対前年比▲1.8%（27年は▲2.6%）とわずかに減少。輸入単価は同7.5%（27年は▲7.6%）とかなりの程度上昇。

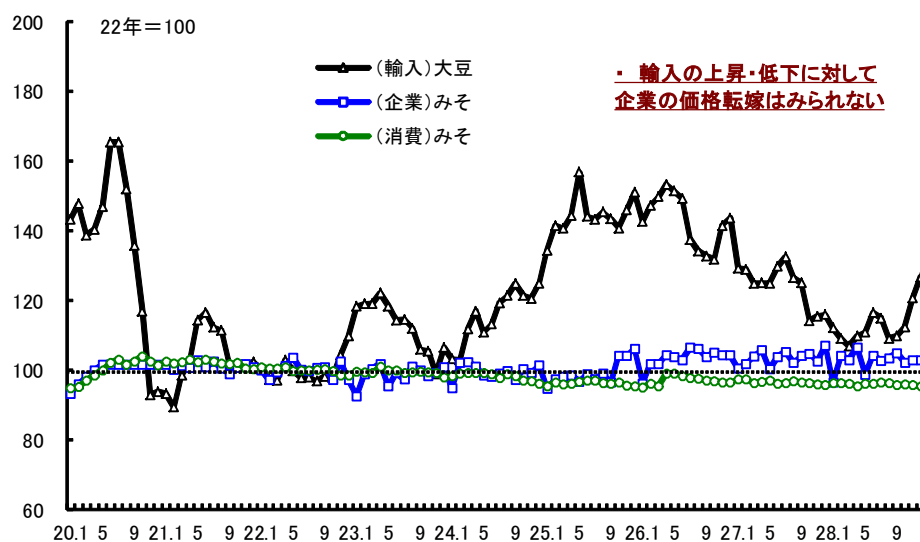
図4-37 砂糖類の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

みその原料である大豆の平成28年における輸入物価は対前年比▲9.0%（27年は▲13.0%）とかなりの程度低下。みその企業物価は同▲0.8%（27年は▲0.2%）と前年並み、消費者物価は同▲0.6%（27年は▲0.6%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は概ね横ばい基調である。

図4-38 みその輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

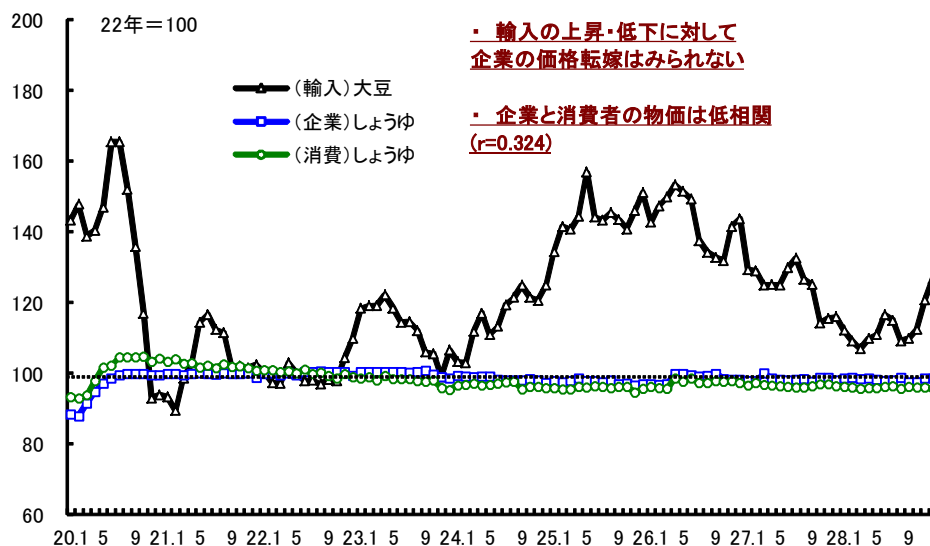
表4-19 みその輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 大豆	企業物価 みそ	消費者物価 みそ
指数 22年=100			
20年	136.6	100.0	100.3
21年	103.9	101.0	102.0
22年	100.0	100.0	100.0
23年	112.9	98.8	99.5
24年	115.9	99.5	98.3
25年	144.3	99.3	96.3
26年	142.9	103.7	97.2
27年	124.4	103.5	96.6
28年	113.2	102.7	96.0
前年増減率 %			
21年	▲24.0	1.0	1.7
22年	▲3.7	▲1.0	▲2.0
23年	12.9	▲1.3	▲0.5
24年	2.7	0.8	▲1.2
25年	24.5	▲0.2	▲2.0
26年	▲1.0	4.4	0.9
27年	▲13.0	▲0.2	▲0.6
28年	▲9.0	▲0.8	▲0.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

しょうゆの原料である大豆の平成 28 年における輸入物価は対前年比▲ 9.0 %（27 年は▲ 13.0 %）とかなりの程度低下。しかし、しょうゆの企業物価は同▲ 0.1 %（27 年は▲ 0.2 %）と前年並み、消費者物価も同▲ 0.6 %（27 年は▲ 0.8 %）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は概ね横ばい基調である。

図4-39 **しょうゆ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

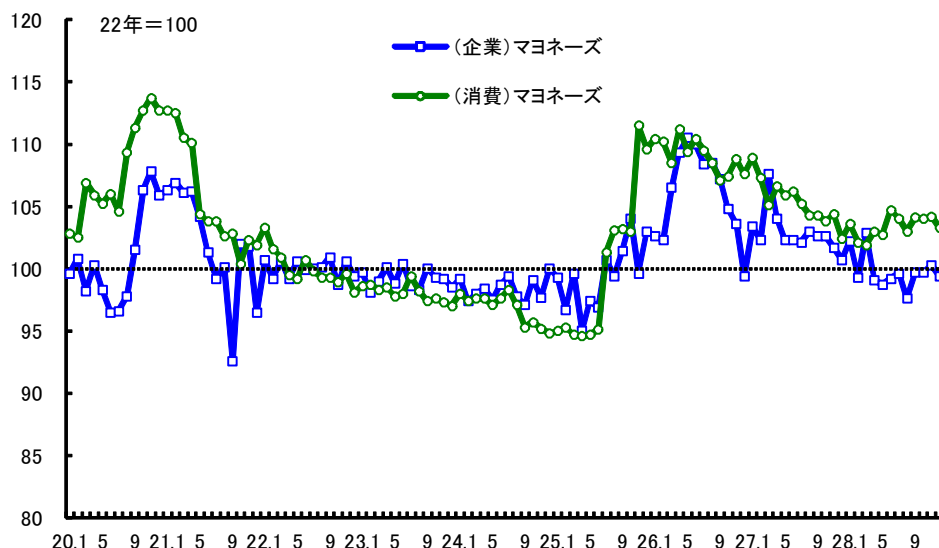
表4-20 **しょうゆ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 大豆	企業物価 しょうゆ	消費者物価 しょうゆ
指数 22年=100			
20年	136.6	96.3	100.6
21年	103.9	99.7	102.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	112.9	100.0	97.8
24年	115.9	98.4	96.6
25年	144.3	97.5	95.8
26年	142.9	98.5	97.3
27年	124.4	98.3	96.5
28年	113.2	98.2	95.9
前年増減率 %			
21年	▲ 24.0	3.5	1.6
22年	▲ 3.7	0.3	▲ 2.2
23年	12.9	0.0	▲ 2.2
24年	2.7	▲ 1.6	▲ 1.2
25年	24.5	▲ 1.0	▲ 0.8
26年	▲ 1.0	1.1	1.6
27年	▲ 13.0	▲ 0.2	▲ 0.8
28年	▲ 9.0	▲ 0.1	▲ 0.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

マヨネーズの平成28年における企業物価は対前年比▲3.0%（27年は▲3.0%）とやや低下で、消費者物価は同▲1.9%（27年は▲3.4%）とわずかに低下。月別推移についてみると、企業物価は26年春に大きく上昇したものの、その後低下している。

図4-40 マヨネーズの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

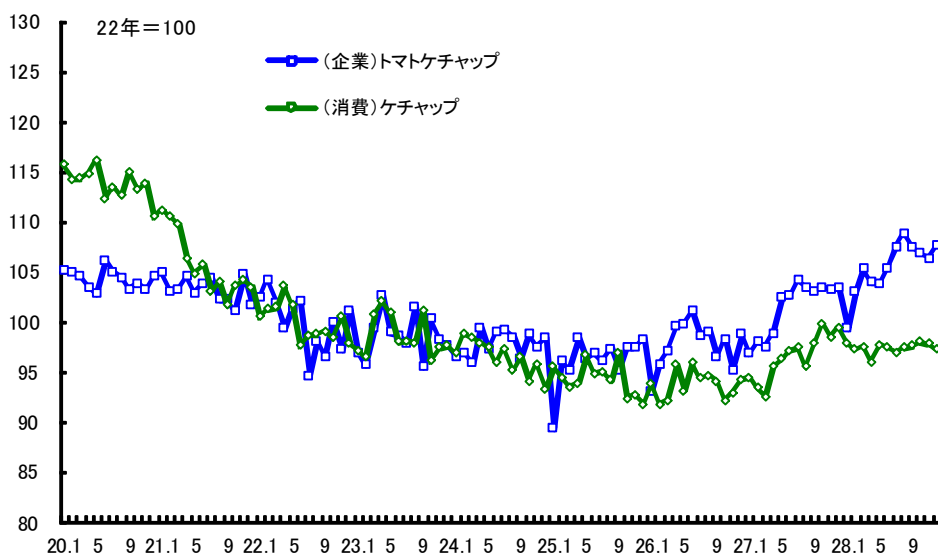
表4-21 マヨネーズの企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 マヨネーズ	消費者物価 マヨネーズ
指数 22年=100		
20年	100.8	107.8
21年	101.9	105.6
22年	100.0	100.0
23年	99.2	98.1
24年	98.4	96.8
25年	99.5	100.1
26年	106.1	109.1
27年	102.9	105.4
28年	99.8	103.4
前年増減率 %		
21年	1.1	▲ 2.0
22年	▲ 1.9	▲ 5.3
23年	▲ 0.8	▲ 1.9
24年	▲ 0.8	▲ 1.3
25年	1.1	3.4
26年	6.7	9.0
27年	▲ 3.0	▲ 3.4
28年	▲ 3.0	▲ 1.9

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

トマトケチャップの平成 28 年における企業物価は対前年比 4.0 %（27 年は 3.8 %）とやや上昇、消費者物価は同 0.9 %（27 年は 3.0 %）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下傾向で推移していたが、26 年以降は上昇に転じた。

図4-41 トマトケチャップの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

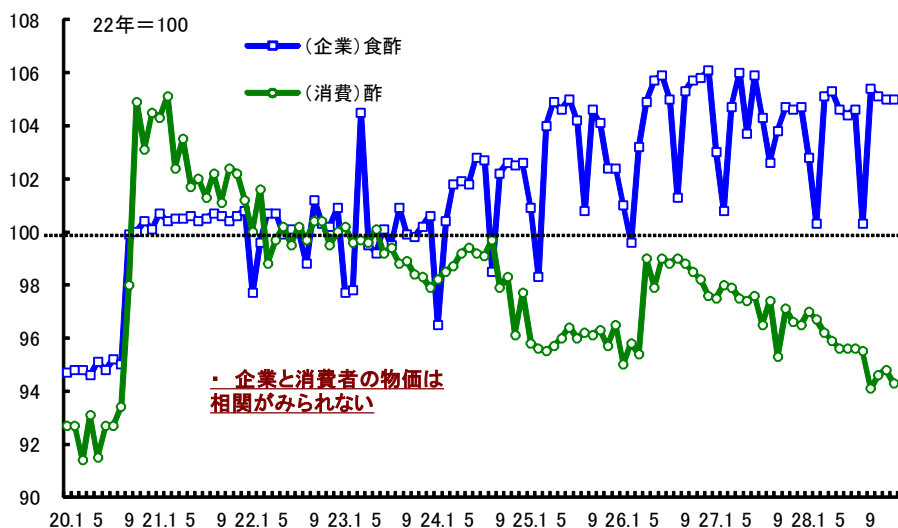
表4-22 トマトケチャップの企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 トマトケチャップ	消費者物価 ケチャップ
指数 22年=100		
20年	104.4	113.9
21年	103.3	105.8
22年	100.0	100.0
23年	98.7	98.7
24年	97.9	96.5
25年	96.3	94.4
26年	97.8	93.8
27年	101.5	96.6
28年	105.5	97.5
前年増減率 %		
21年	▲ 1.0	▲ 7.1
22年	▲ 3.2	▲ 5.5
23年	▲ 1.3	▲ 1.3
24年	▲ 0.8	▲ 2.2
25年	▲ 1.7	▲ 2.2
26年	1.6	▲ 0.6
27年	3.8	3.0
28年	4.0	0.9

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

食酢の平成28年における企業物価は対前年比▲0.1%（27年は▲0.1%）と前年並み、消費者物価は同▲1.6%（27年は▲0.7%）とわずかに低下。月別推移についてみると、平成23年以降企業物価は上昇傾向から横ばいで推移しているが、消費者物価は概ね低下傾向で乖離がみられる。

図4-42 食酢の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-23 食酢の企業物価・消費者物価の推移

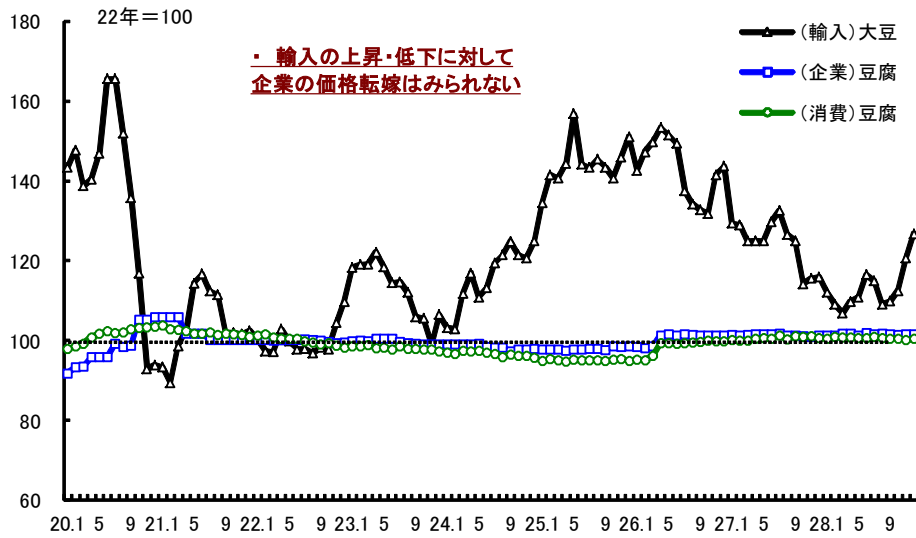
	企業物価 食酢	消費者物価 酢
指数 22年=100		
20年	96.6	95.9
21年	100.6	102.4
22年	100.0	100.0
23年	100.0	99.2
24年	101.4	98.5
25年	102.0	96.0
26年	104.1	97.8
27年	104.1	97.1
28年	104.0	95.5
前年増減率 %		
21年	4.1	6.8
22年	▲0.5	▲2.3
23年	▲0.0	▲0.8
24年	1.4	▲0.7
25年	0.6	▲2.5
26年	2.1	1.9
27年	▲0.1	▲0.7
28年	▲0.1	▲1.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(7) 大豆・同加工品

豆腐の原料である大豆の平成28年における輸入物価は対前年比▲9.0%（27年は▲13.0%）とかなりの程度低下したが、豆腐の企業物価は同0.2%（27年は0.8%）と前年並み、消費者物価は同0.0%（27年は2.0%）と同水準。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は緩やかに低下基調にあったが、26年の春以降上昇に転じ、以降概ね横ばいで推移している。

図4-43 豆腐の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

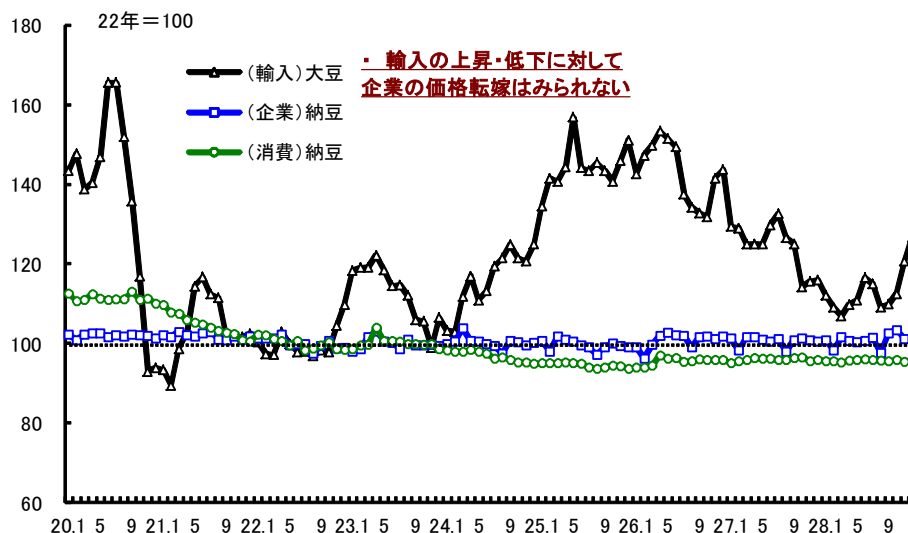
表4-24 豆腐の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 大豆	企業物価 豆腐	消費者物価 豆腐
指数 22年=100			
20年	136.6	98.2	101.5
21年	103.9	102.0	102.1
22年	100.0	100.0	100.0
23年	112.9	99.7	98.1
24年	115.9	98.4	96.6
25年	144.3	98.0	95.1
26年	142.9	100.6	98.6
27年	124.4	101.4	100.6
28年	113.2	101.5	100.6
前年増減率 %			
21年	▲ 24.0	3.8	0.6
22年	▲ 3.7	▲ 2.0	▲ 2.1
23年	12.9	▲ 0.3	▲ 1.9
24年	2.7	▲ 1.3	▲ 1.5
25年	24.5	▲ 0.5	▲ 1.6
26年	▲ 1.0	2.7	3.7
27年	▲ 13.0	0.8	2.0
28年	▲ 9.0	0.2	0.0

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

納豆の原料である大豆の平成28年における輸入物価は対前年比▲9.0%（27年は▲13.0%）とかなりの程度低下したが、納豆の企業物価が同0.3%（27年は▲0.2%）と前年並み、消費者物価が同▲0.2%（27年は0.4%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに概ね横ばい傾向となっている。

図4-44 納豆の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-25 納豆の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 大豆	企業物価 納豆	消費者物価 納豆
指数 22年=100			
20年	136.6	101.9	111.3
21年	103.9	101.8	104.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	112.9	99.9	100.1
24年	115.9	100.2	96.8
25年	144.3	99.6	94.5
26年	142.9	100.7	95.5
27年	124.4	100.5	95.9
28年	113.2	100.8	95.7
前年増減率 %			
21年	▲ 24.0	▲ 0.1	▲ 6.1
22年	▲ 3.7	▲ 1.8	▲ 4.3
23年	12.9	▲ 0.1	0.1
24年	2.7	0.3	▲ 3.3
25年	24.5	▲ 0.6	▲ 2.4
26年	▲ 1.0	1.1	1.1
27年	▲ 13.0	▲ 0.2	0.4
28年	▲ 9.0	0.3	▲ 0.2

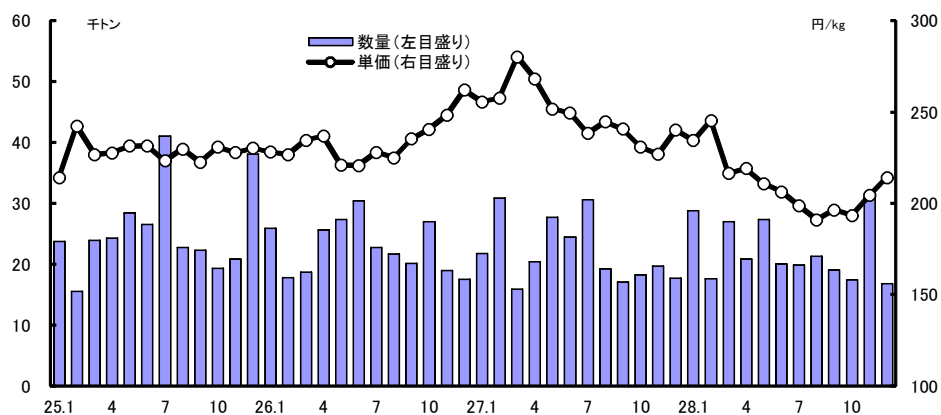
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(8) 飲料

果汁の平成 28 年の輸入量は、対前年比 1.3 % (27 年は▲ 3.7 %) とわずかに増加、輸入単価は同▲ 15.0 % (27 年は 6.8 %) とかなり大きく低下。

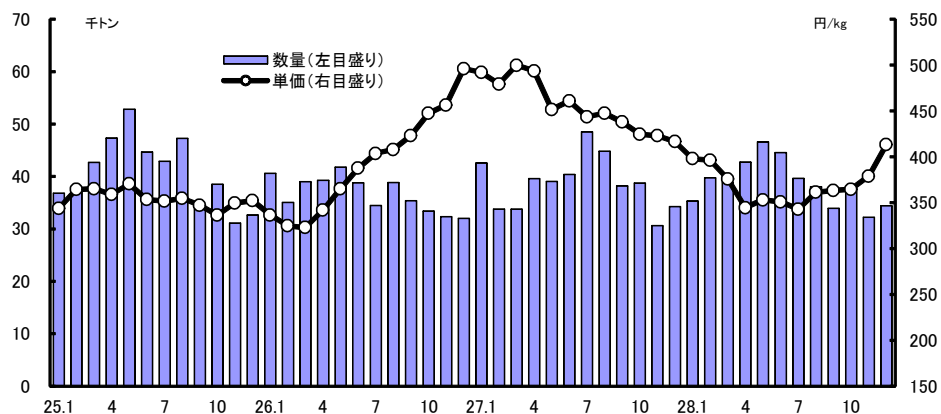
コーヒー (代用物含む) の平成 28 年の輸入量は、対前年比▲ 0.1 % (27 年は 5.3 %) と前年並み、輸入単価は同▲ 19.1 % (27 年は 17.1 %) と大幅に低下。

図4-45 **果汁** の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

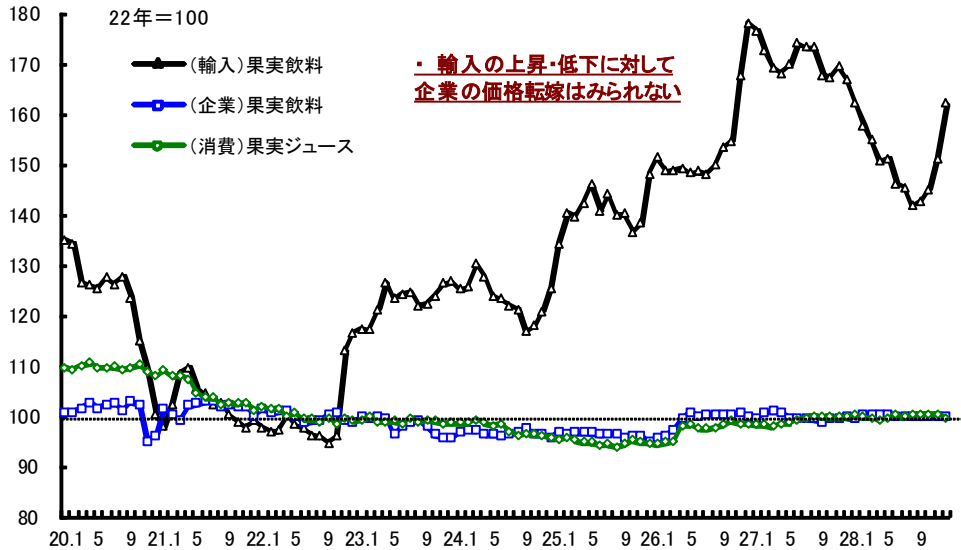
図4-46 **コーヒー** (代用物含む) の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

果実飲料の平成28年における輸入物価は対前年比▲11.6%（27年は10.9%）とかなり大きく低下したが、企業物価は同0.2%（27年は0.6%）と前年並み、消費者物価は同0.8%（27年は2.0%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は緩やかに低下していたものの、26年春以降は上昇に転じた。

図4-47 果実飲料の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

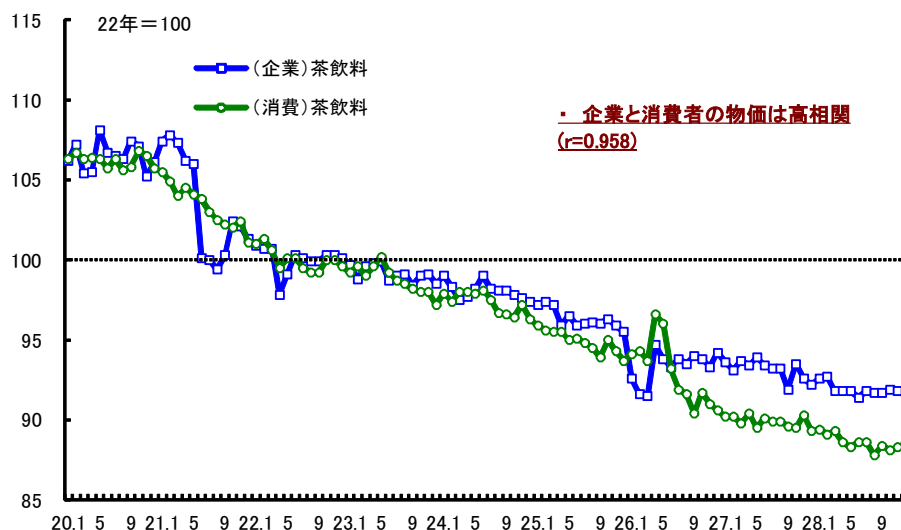
表4-26 果実飲料の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 果物飲料	企業物価 果実飲料	消費者物価 果実ジュース
指数 22年=100			
20年	123.1	100.8	109.6
21年	102.5	101.7	104.6
22年	100.0	100.0	100.0
23年	123.0	98.1	99.0
24年	123.4	96.6	97.5
25年	140.9	96.3	94.8
26年	154.0	99.3	97.3
27年	170.8	99.8	99.2
28年	151.0	100.0	100.0
前年増減率 %			
21年	▲ 16.8	0.8	▲ 4.6
22年	▲ 2.4	▲ 1.6	▲ 4.4
23年	23.0	▲ 1.9	▲ 1.0
24年	0.3	▲ 1.5	▲ 1.5
25年	14.2	▲ 0.3	▲ 2.8
26年	9.3	3.1	2.6
27年	10.9	0.6	2.0
28年	▲ 11.6	0.2	0.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

茶飲料の平成 28 年における企業物価は対前年比▲ 1.3 % (27 年は▲ 0.2 %) とわずかに低下。
 消費者物価は同▲ 1.4 % (27 年は▲ 3.2 %) とわずかに低下している。
 なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、相関は高い。

図4-48 **茶飲料**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-27 **茶飲料**の企業物価・消費者物価の推移

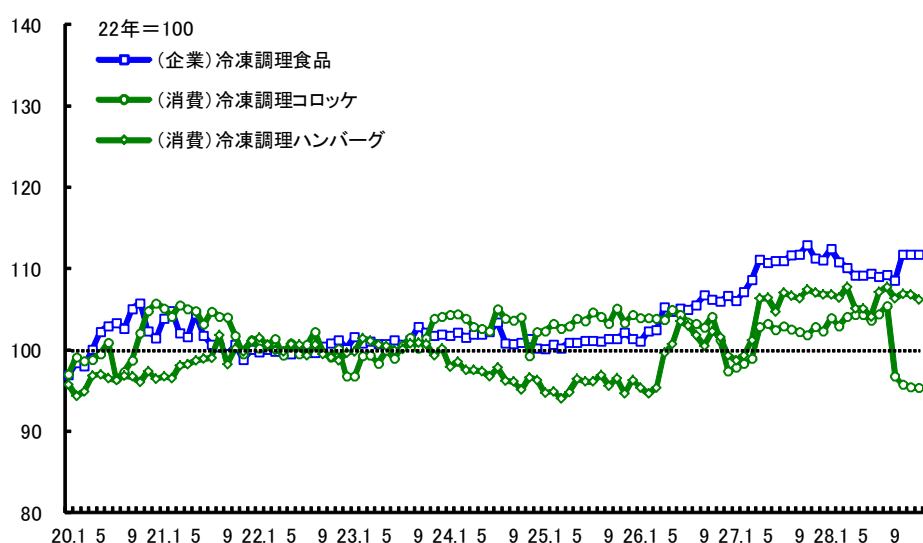
	企業物価 茶飲料	消費者物価 茶飲料
指数 22年=100		
20年	106.5	106.2
21年	103.4	103.4
22年	100.0	100.0
23年	99.1	98.8
24年	98.1	97.3
25年	96.3	94.9
26年	93.3	92.9
27年	93.1	89.9
28年	91.9	88.6
前年増減率 %		
21年	▲ 2.9	▲ 2.6
22年	▲ 3.2	▲ 3.3
23年	▲ 0.9	▲ 1.2
24年	▲ 1.1	▲ 1.5
25年	▲ 1.8	▲ 2.5
26年	▲ 3.1	▲ 2.1
27年	▲ 0.2	▲ 3.2
28年	▲ 1.3	▲ 1.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(9) 冷凍調理食品

冷凍調理食品の平成28年における企業物価は対前年比▲0.1%（27年は5.3%）と前年並みであったが、冷凍調理コロッケの消費者物価は同0.0%（27年は▲1.5%）と同水準、また、冷凍調理ハンバーグの消費者物価は同1.5%（27年は5.0%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、企業物価は概ね横ばいから26年から27年にかけて上昇後は横ばい、冷凍調理コロッケの消費者物価は概ね横ばいから26年秋に上昇後は横ばい傾向。冷凍調理ハンバーグの消費者物価は26年春以降は上昇。

図4-49 冷凍調理食品の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-28 冷凍調理食品の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 冷凍調理食品	消費者物価 冷凍調理コロッケ	消費者物価 冷凍調理ハンバーグ
指数 22年=100			
20年	101.6	99.9	96.2
21年	101.5	103.6	98.9
22年	100.0	100.0	100.0
23年	101.4	100.3	100.4
24年	101.6	103.2	97.0
25年	101.0	103.6	95.6
26年	104.7	103.0	99.8
27年	110.3	101.5	104.8
28年	110.2	101.5	106.4
前年増減率 %			
21年	▲0.0	3.7	2.8
22年	▲1.5	▲3.5	1.1
23年	1.3	0.3	0.4
24年	0.2	2.9	▲3.4
25年	▲0.5	0.4	▲1.4
26年	3.7	▲0.6	4.4
27年	5.3	▲1.5	5.0
28年	▲0.1	0.0	1.5

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」